

白井市文化センターのあり方検討委員会

第 5 回 会 議 次 第

日時 令和4年3月18日(金)

午後1時30分から

場所 白井市文化センター2階中ホール

1 開会

2 委員長挨拶

3 報告事項

(1) 文化センターの運営経費について(訂正)【資料1】

(2) 白井市公共施設個別施設計画について【資料2】

(3) 市民ワークショップ・施設見学会の実施結果について【資料3】

(4) 施設別改修経費・ライフサイクルコストについて【資料4】

(5) 今後のスケジュールについて【資料5】

4 議題

(1) 今後の文化センターのあり方の検討について【資料6】

5 その他

6 閉会

文化センターの運営経費について（訂正）

検討委員会第2回会議で提示した文化センター運営経費のうち、平成8年度の運営経費（資料4-4）に誤りがありました。また、それに伴い資料4-1の決算額も訂正の必要が生じたので、両者を訂正させていただきます。

文化センター全体の平成31年度歳出決算額は、平成8年度歳出決算額と比較して第2回会議では1,785万1,102円の減と説明しましたが、正しくは1億1,217万4,121円の減となります。

表 決算額の比較

予算科目	平成8年度	平成31年度	差引
一般職員人件費 (全職員の給料、手当等)	138,389,927 円	144,033,520 円	5,643,593 円増
文化センターの管理運営に要する経費	73,231,888 円	101,774,526 円	28,542,638 円増
図書館費	144,024,939 円	61,030,461 円	82,994,478 円減
プラネタリウム費	17,417,649 円	11,919,386 円	5,498,263 円減
郷土資料館費	4,592,719 円	3,341,398 円	1,251,321 円減
文化会館費	85,461,729 円	28,845,439 円	56,616,290 円減
総 額	463,118,851 円	350,944,730 円	112,174,121 円減

※ゴシック体部分が修正箇所

文化センター運営経費(H8)

平成8年度決算

市一般会計総括	決算額
歳入	¥15,004,422,242
歳出	¥14,387,324,302
差引残高	¥617,097,940

文化センター総括	決算額	総額に占める割合
歳入	¥37,126,750	0.25%
歳出	¥463,118,851	3.22%
差引残高	¥-425,992,101	

一般会計歳入

款	収入済額	割合
1款 町税	¥7,350,575,880	48.99%
2款 地方譲与税	¥317,871,000	2.12%
3款 利子割交付金	¥76,608,000	0.51%
4款 ゴルフ場利用税交付金	¥43,945,650	0.29%
5款 特別地方消費税交付金	¥312,000	0.00%
6款 自動車取得税交付金	¥142,577,000	0.95%
7款 地方交付税	¥1,384,035,000	9.22%
8款 交通安全対策特別交付金	¥8,349,000	0.06%
9款 分担金及び負担金	¥135,706,915	0.90%
10款 使用料及び手数料	¥65,626,917	0.44%
11款 国庫支出金	¥556,726,209	3.71%
12款 県支出金	¥322,449,147	2.15%
13款 財産収入	¥55,179,639	0.37%
14款 寄附金	¥4,401,320	0.03%
15款 繰入金	¥351,916,900	2.35%
16款 繰越金	¥723,564,583	4.82%
17款 諸収入	¥1,435,177,082	9.57%
18款 町債	¥2,029,400,000	13.53%
合計	¥15,004,422,242	100.00%

一般会計歳出

款	支出済額	割合
1款 議会費	¥169,724,225	1.18%
2款 総務費	¥2,106,316,207	14.64%
3款 民生費	¥1,388,971,271	9.65%
4款 衛生費	¥1,756,973,369	12.21%
5款 農林水産業費	¥206,480,832	1.44%
6款 商工費	¥72,630,164	0.50%
7款 土木費	¥2,859,363,494	19.87%
8款 消防費	¥719,560,284	5.00%
9款 教育費	¥2,364,813,875	16.44%
(9款4項 社会教育費)	(¥622,273,200)	(4.33%)
10款 災害復旧費	¥0	0.00%
11款 公債費	¥1,725,167,796	11.99%
12款 諸支出金	¥1,017,322,785	7.07%
13款 予備費	¥0	0.00%
合計	¥14,387,324,302	100.00%

文化センター歳入

款項目	収入済額	説明
10款1項5目 教育使用料	¥9,279,010	
文化会館使用料	¥6,660,680	大・中ホール等使用料
文化会館占有使用料	¥847,410	喫茶室
プラネタリウム使用料	¥1,770,920	一般・学習投映
17款4項3目雑入	¥27,847,740	
コピー代等		
書籍等販売収入		
臨時職員等雇用保険負担金		
光熱水費実費負担分		
電話料金		
文化会館自主事業入場料	¥27,847,740	
大会参加費等負担金		
プラネタリウム館自主事業参加者負担金		当該予算無し
その他		
合計	¥37,126,750	

※斜線部分は文化センター分の決算額の抽出が難しいため省略

文化センター歳出

款項目	支出済額	説明
9款4項6目文化センター費		
職員人件費等	¥138,389,927	給料、職員手当、管理運営経費
人件費以外	¥73,231,888	各種保守点検、工事請負費等
文化センター費総額	¥211,621,815	
9款4項7目図書館費		
機器賃借料	¥20,815,352	
図書館資料購入費	¥73,507,667	雑誌は除く
上記以外	¥49,701,920	
図書館費総額	¥144,024,939	
9款4項7目プラネタリウム費		
プラネタリウム費	¥17,417,649	プラネタリウム館運営全般
プラネタリウム費総額	¥17,417,649	
9款4項8目郷土資料館費		
郷土資料館費	¥4,592,719	郷土資料館運営全般
郷土資料館費総額	¥4,592,719	
9款4項9目文化会館費		
公演手数料	¥51,209,406	自主事業公演手数料
公演手数料以外	¥34,252,323	施設維持管理関係全般
文化会館費総額	¥85,461,729	
合計	¥463,118,851	

『平成8年度白井町歳入歳出決算書』より作成

文化センター運営経費(H31)

平成31年度決算

市一般会計総括	決算額
歳入	¥20,759,176,197
歳出	¥19,763,204,780
差引	¥995,971,417

文化センター総括	決算額	総額に占める割合
歳入	¥16,574,456	0.08%
歳出	¥350,944,730	1.78%
差引	¥-334,370,274	

一般会計歳入

款	収入済額	割合
1款 市税	¥9,281,979,444	44.71%
2款 地方譲与税	¥151,263,015	0.73%
3款 利子割交付金	¥7,216,000	0.03%
4款 配当割交付金	¥50,101,000	0.24%
5款 株式等譲渡所得割交付金	¥32,844,000	0.16%
6款 地方消費税交付金	¥1,026,429,000	4.94%
7款 ゴルフ場利用税交付金	¥23,257,500	0.11%
8款 自動車取得税交付金	¥31,366,977	0.15%
9款 環境性能割交付金	¥9,165,000	0.04%
10款 地方特例交付金	¥180,637,000	0.87%
11款 地方交付税	¥1,126,496,000	5.43%
12款 交通安全対策特別交付金	¥6,245,000	0.03%
13款 分担金及び負担金	¥605,113,438	2.91%
14款 使用料及び手数料	¥124,194,705	0.60%
15款 国庫支出金	¥2,861,780,282	13.79%
16款 県支出金	¥1,199,937,479	5.78%
17款 財産収入	¥42,629,133	0.21%
18款 寄附金	¥65,371,025	0.31%
19款 繰入金	¥1,042,486,005	5.02%
20款 繰越金	¥826,598,048	3.98%
21款 諸収入	¥522,312,146	2.52%
22款 市債	¥1,541,754,000	7.43%
合計	¥20,759,176,197	100.00%

一般会計歳出

款	支出済額	割合
1款 議会費	¥191,271,887	0.97%
2款 総務費	¥2,789,077,322	14.11%
3款 民生費	¥7,810,343,497	39.52%
4款 衛生費	¥1,537,950,000	7.78%
5款 農林水産業費	¥108,456,888	0.55%
6款 商工費	¥161,221,131	0.82%
7款 土木費	¥1,652,972,982	8.36%
8款 消防費	¥1,188,530,079	6.01%
9款 教育費	¥2,453,937,821	12.42%
(9款4項 社会教育費)	(¥499,105,961)	(2.53%)
10款 災害復旧費	¥32,034,804	0.16%
11款 公債費	¥1,837,396,068	9.30%
12款 諸支出金	¥12,301	0.00%
13款 予備費	¥0	0.00%
合計	¥19,763,204,780	100.00%

文化センター歳入

款項目	収入済額	説明
14款1項6目 教育使用料	¥15,192,960	
文化会館使用料	¥13,356,440	大・中ホール等使用料
文化センター占用使用料	¥600	郵便ポスト敷地占用料
プラネタリウム使用料	¥1,835,920	一般・学習投映
17款1項1目 まちづくり寄附金	¥0	
まちづくり寄附金	¥0	
21款4項2目雑入	¥1,381,496	
コピー代等	¥54,680	文化会館、図書館、郷土資料館
書籍等販売収入	¥72,160	郷土資料館販売書籍
臨時職員等雇用保険負担金	¥68,903	4館の臨時職員等
光熱水費実費負担分	¥329,458	喫茶室・自動販売機
電話料金	¥5,960	公衆電話
文化会館自主事業入場料	¥409,000	1演目分
大会参加費等負担金	¥14,600	郷土資料館講座、体験教室
プラネタリウム館自主事業参加者負担金	¥398,840	プラネタリウム館ライブ、講座等
その他	¥27,895	図書カート再発行代等
合計	¥16,574,456	

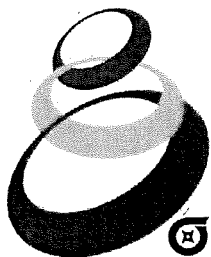
文化センター歳出

款項目	支出済額	説明
9款4項5目文化センター費		
01一般職員人件費	¥144,033,520	給料、職員手当、共済費
02文化センターの管理運営に要する経費	¥101,774,526	施設管理に要する経費
9款4項6目図書館費		
01図書館電算システム運用に要する経費	¥14,285,339	インターネット回線、電算システム保守
02図書館サービス推進事業	¥25,140,230	会計年度任用職員、電算用寄附金作成
03図書館資料整備事業	¥21,604,892	新聞雑誌・図書・視聴覚資料購入
図書館費総額	¥61,030,461	
9款4項7目プラネタリウム費		
01プラネタリウム館運営事業	¥11,919,386	プラネタリウム館運営全般
プラネタリウム費総額	¥11,919,386	
9款4項8目郷土資料館費		
01郷土資料館管理運営に要する経費	¥2,836,683	会計年度任用職員、施設関係消耗品
02市民学芸スタッフ古文書修補活動事業	¥128,661	古文書修補活動用消耗品等
03郷土資料館展示・教育普及事業	¥376,054	展示・講座等用消耗品等
郷土資料館費総額	¥3,341,398	
9款4項9目文化会館費		
01文化会館管理運営に要する経費	¥26,187,743	会計年度任用職員、施設維持管理
02文化会館自主事業運営事業	¥2,657,696	自主事業開催経費等
文化会館費総額	¥28,845,439	
合計	¥350,944,730	

『平成31年度白井市歳入歳出決算書』より作成

白井市公共施設個別施設計画について

白井市内各公共施設の維持管理や更新に係る費用についての説明を求める意見がありましたので、工事内容や実施時期等を示した資料である別紙『白井市公共施設個別施設計画』（令和3年3月策定）により説明します。



白 井 市 公 共 施 設
個 別 施 設 計 画

令 和 3 年 3 月

白 井 市 総 務 部
公共施設マネジメント課

【 目 次 】

第1章 個別施設計画について

1	計画策定の背景と目的	1
2	計画の位置付け	1
3	計画の期間	2

第2章 対象施設の現状等について

1	対象施設	3
2	建物基本情報及び劣化状況評価	4

第3章 施設整備の基本的な方針等について

1	施設整備の基本的な方針	5
2	公共施設の新設の制限	5
3	維持保全工事	5
4	長寿命化工事	5
5	施設の更新等の考え方	5
6	施設整備に係るフローチャート	6
7	維持保全工事・長寿命化工事の優先順位	7
8	工事の整備スキームと各課の役割	7
9	維持管理の容易な工法等の選択	7
10	予防保全	8
11	施設管理情報の蓄積	8
12	予算管理	8
13	防災・減災等への対策	8

第4章 維持保全工事・長寿命化工事の実施時期等について

1	工事内容及び実施時期	9
2	維持保全工事・長寿命化工事に係る想定経費	9
3	個別施設計画の継続的運用方針	9

資料編

1	工事履歴	10
2	劣化状況調査方法	11

第1章 個別施設計画について

1 計画策定の背景と目的

本市では、公共施設等の現状と課題を把握し、様々な課題に適正に対応するため、長期的な視点に立った総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針として、平成29年3月に「白井市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

将来にわたり、公共施設等を適正に管理していくためには、この白井市公共施設等総合管理計画に基づく施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を策定し、維持管理や更新にかかる費用を縮減・平準化した上で、長期的な視点に立った対策を計画的に進めていく必要があります。

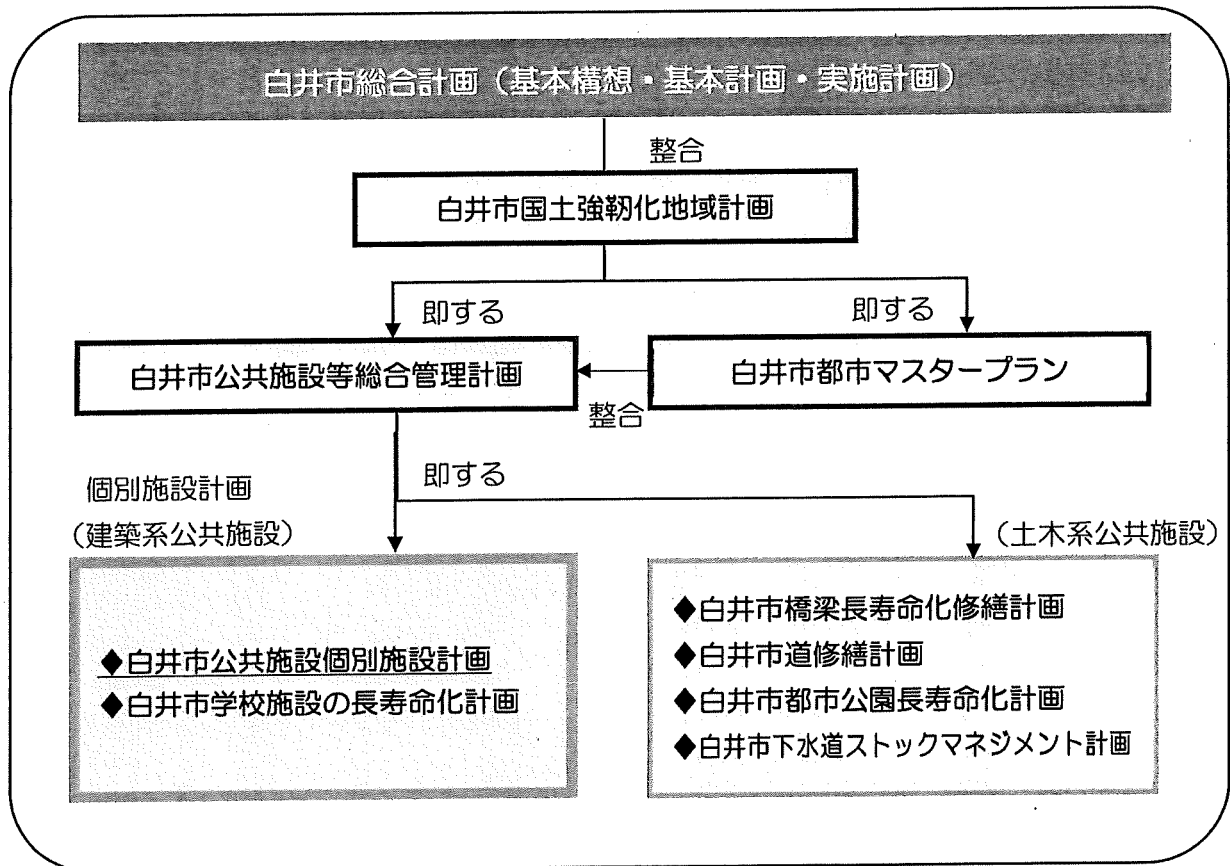
そこで、これまでの各施設の実情等を踏まえつつ、施設ごとの工事内容や実施時期等を示す「白井市公共施設個別施設計画（以下「本計画」という。）」を策定しました。

今後は、本計画に基づき、施設の長寿命化工事等の時期を分散するなど、財政負担の平準化等を図りながら、適切な維持管理等の推進を目指します。

2 計画の位置付け

白井市公共施設等総合管理計画に基づき、施設ごとの建築時期、劣化状況や工事履歴等を考慮した維持保全工事等の実施計画とします。

【個別施設計画等の位置付け】



3 計画の期間

本計画は、施設ごとの現実的な対策内容等を示すため、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度の10年間を計画期間とし、中間期の5年目に見直しを行います。

これは、上位計画である白井市総合計画や白井市公共施設等総合管理計画の改訂等を踏まえて設定しています。

なお、公共施設の状態は経年劣化等の要因によって時々刻々と変化することから、日々の定期点検の結果等を踏まえ、適宜、本計画を見直すこととします。

【個別施設計画等の計画期間】

年度	H28-R7 (2016-2025)	R8-17 (2026-2035)	R18-27 (2036-2045)	R28-37 (2046-2055)	R38-47 (2056-2065)			
総合計画 (10年ごとに改訂)	→							
公共施設等総合管理計画 (2017-2056年度まで。 40年間の計画期間)	策定	定期見直し	定期見直し	定期見直し	定期見直し			
	前提条件の大幅な変更に合わせて、必要に応じて見直す							
個別施設計画 (2021-2030年まで。 10年間の計画期間)	策定	見直し	見直し	見直し	見直し	見直し	見直し	見直し
	定期点検の結果等を踏まえ、適宜、見直す							

第2章 対象施設の現状等について

1 対象施設

本計画の対象施設は、市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、子育て支援施設、保健・福祉施設、行政系施設のうち、居室を有する概ね延床面積200㎡以上の建築系公共施設を基本とし、以下の21施設を対象とします。

【対象施設一覧表】

(令和3年3月時点)

建物基本情報								築年数	所在地
No.	施設名	建物名	構造	階数	延床面積(㎡)	建築年度			
						西暦	和暦		
1	白井駅前センター	白井駅前センター	RC	2F	1,140	1985	S60	35年	白井市堀込1丁目2番2号
2	西白井複合センター	西白井複合センター	RC	2F	2,409	1981	S56	39年	白井市清水口1丁目2番1号
3	西白井コミュニティプラザ	西白井コミュニティプラザ	S	1F	623	2019	H31	1年	白井市西白井2丁目16番地の1
4	桜台センター	桜台センター	RC	2F	1,584	1993	H5	27年	白井市桜台2丁目14番
5	学習等供用施設	学習等供用施設	RC	2F	1,467	1989	H元	31年	白井市富士239番地の2
6	公民センター	公民センター	RC	2F	1,994	1992	H4	28年	白井市中98番地の17
7	白井コミュニティセンター	白井コミュニティセンター	S	2F	1,239	2011	H23	9年	白井市復1458番地の1
8	白井児童館	白井児童館	RC	2F	450	1982	S57	38年	白井市復1458番地の1
9	福祉センター	福祉センター	RC	2F	2,680	1988	S63	32年	白井市清戸766番地の1
10	障害者支援センター	障害者支援センター	RC	2F	896	1981	S56	39年	白井市南山1丁目8番1号
11	農業センター	農業センター	RC	2F	403	1990	H2	30年	白井市根20番地の1
12	高齢者就労指導センター	高齢者就労指導センター	S	1F	460	1999	H11	21年	白井市清戸765番地の2
13	文化センター	文化センター	SRC	B1 4F	10,136	1993	H5	27年	白井市復1148番地の8
14	白井運動公園	運動公園管理棟	RC	3F	2,306	1997	H9	23年	白井市神々廻1728番地の1
15	白井市民プール	管理棟	RC	2F	663	1991	H3	29年	白井市神々廻1701番地の1
16	白井市役所	本庁舎	RC	4F	4,665	2017	H29	3年	白井市復1123番地
17	白井市役所	東庁舎	SRC	B1 4F	5,858	1981	S56	39年	白井市復1123番地
18	保健福祉センター	保健福祉センター	S	B1 3F	5,592	2001	H13	19年	白井市復1123番地
19	清水口保育園	清水口保育園	RC	2F	1,496	2002	H14	18年	白井市清水口2丁目8番1号
20	南山保育園	南山保育園	RC	2F	1,706	2008	H20	12年	白井市南山1丁目7番1号
21	桜台保育園	桜台保育園	RC	2F	886	1993	H5	27年	白井市桜台2丁目9番

2 建物基本情報及び劣化状況評価

本計画の対象施設のうち、計画期間内（2021年度～2030年度）に維持保全工事・長寿命化工事を予定する各施設の建物基本情報及び劣化状況評価については、下表のとおりです。

なお、現段階で下表に記載されていない（2030年度までは大規模な工事を予定していない）その他の対象施設についても、継続的に本計画を見直すことで、順次、維持保全工事等を計画していきます。

【建物基本情報及び劣化状況評価】

建物基本情報						劣化状況評価							
No.	施設名	建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		屋根	外壁	仕内上部	設電備	機機設備	健全度 (100点満点)
						西暦	和暦						
1	保健福祉センター	保健福祉センター	S	B1 3F	5,592	2001	H13	A	B	A	B	C	82
2	高齢者就労指導センター	高齢者就労指導センター	S	1F	460	1999	H11	B	B	B	B	B	75
3	白井市民プール	管理棟	RC	2F	663	1991	H3	C	D	C	B	B	40
4	白井駅前センター	白井駅前センター	RC	2F	1,140	1985	S60	D	C	C	C	C	37
5	文化センター	文化センター	SRC	B1 4F	10,136	1993	H5	D	D	C	B	B	38
6	学習等供用施設	学習等供用施設	RC	2F	1,467	1989	H元	C	C	B	B	D	62
7	桜台センター	桜台センター	RC	2F	1,584	1993	H5	D	C	B	B	D	54
8	清水口保育園	清水口保育園	RC	2F	1,496	2002	H14	D	B	A	A	C	78
9	福祉センター	福祉センター	RC	2F	2,680	1988	S63	A	A	C	C	B	67
10	西白井複合センター ※	西白井複合センター	RC	2F	2,409	1981	S56	A	A	B	B	B	84

【参照：白井市公共施設修繕計画（平成31年3月）（一部加筆修正）】

※ 西白井複合センターは昭和56年度に建築した施設ですが、平成26年度に改修を行っていることから、健全度が高くなっています。

第3章 施設整備の基本的な方針等について

1 施設整備の基本的な方針

本市の公共施設の大きな特徴として、公民館、児童館、老人憩いの家、図書室等を建築当初から単一用途の施設ではなく、複合化している施設が多いことから、施設を長く賢く使うため、適切な時期に維持保全工事や長寿命化工事を実施し、最適な維持管理を図ることを前提とします。

なお、長寿命化工事の設計段階においては、公共施設に対する市民の様々な意見を参考にし、施設の利便性、社会的ニーズ等の向上に努めます。

2 公共施設の新設の制限

白井市公共施設の最適配置等検討方針（平成31年3月）に基づき、市は、公共施設に関する新たな行政ニーズが生じない限り、新たな公共施設を原則として建設しません。

3 維持保全工事

建築から20年程度経過した公共施設について、外部改修（外部塗装、防水改修）、空調設備更新などを行い、建築当初の用途・性能・機能の維持及び回復を図るための工事を実施します。

4 長寿命化工事

建築から35～40年程度経過した公共施設について、省エネルギー化やバリアフリー化、現行法令等への適合化など、現行の公共施設に求められる水準に合わせた機能の向上を図るための工事を実施します。

また、時代の変化に合わせた用途の変更、機能の追加等の社会的ニーズへの対応を図ります。

5 施設の更新等の考え方

白井市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）では、施設の更新費用を推計するため、耐用年数の65年を満了した時点で、同種・同規模に建替えるとして試算していますが、建替えに限定せず、建築から65年程度経過した公共施設については、施設の更新等（長寿命化、複合化、用途変更、廃止等）の検討を行います。

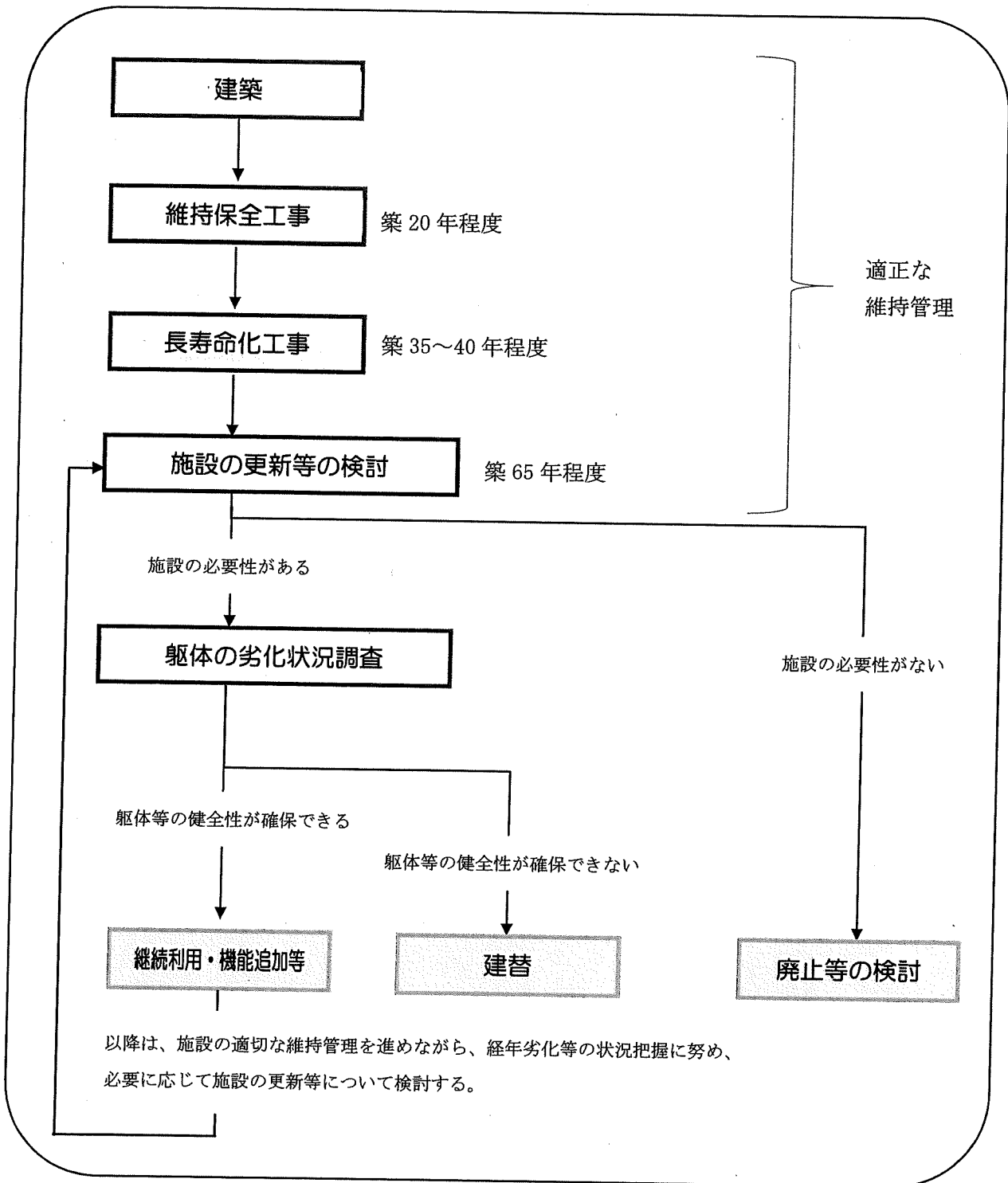
今後は、人口減少や少子高齢化等がますます進展し、公共施設に求められる役割や機能は変化していくものと考えられます。このため、老朽化対策の検討に当たっては、その時点で各施設が果たしている役割や機能を再確認した上で、その施設の必要性自体を再検討する必要があります。

検討の結果、必要性がある施設については、躯体等の健全性が確保できることを前提に、社会情勢の変化に応じた機能の追加や用途の変更、複合化などを行います。一方で、必要性がない施設については、廃止・撤去を検討するなどの取り組みを推進します。

6 施設整備に係るフローチャート

建築から施設整備（長寿命化、複合化、用途変更、廃止等）までの基本的な流れは、下記の図のとおりです。

【施設整備に係るフローチャート】



7 維持保全工事・長寿命化工事の優先順位

維持保全工事等の優先順位は、白井市公共施設修繕計画（平成31年3月）で示した健全度が低い（劣化が進行している）公共施設を優先し、さらに、財政推計の見直しと財政健全化の取組（令和2年8月）で示された財政推計等との整合性を考慮し、決定するものとします。

なお、工事の実施については、白井市公共施設修繕計画に基づき、既に一部の公共施設では工事を完了していますが、今後は、上位計画である白井市公共施設個別施設計画（本計画）に移行し、適正な公共施設の維持管理を推進します。

8 工事の整備スキームと各課の役割

はじめに、施設担当課において、施設への要求事項等を取りまとめ、基本設計に反映させます。その後、基本設計を基に公共施設マネジメント課において実施設計を作成し、工事を発注します。

基本設計・実施設計・工事は原則一年ずつで、これを基本的な整備スキームとします。

また、各課の役割と合わせた整備スキームのイメージは、下表のとおりです。

【基本的な整備スキームと各課の役割】

	基本設計	実施設計	工事
施設担当課	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計の予算管理、作成 コンサルタント業務委託契約 施設への要求事項を取りまとめ、基本設計に反映 	<ul style="list-style-type: none"> 実施設計の内容確認 	<ul style="list-style-type: none"> 工事関係者と協議 完了検査等の立ち会い
公共施設 マネジメント課	<ul style="list-style-type: none"> 基本設計の作成に際し、施設担当課へ技術的な助言、補助等 	<ul style="list-style-type: none"> 実施設計の予算管理、作成 設計関係者と協議 関係諸官庁への手続き 	<ul style="list-style-type: none"> 工事の発注 工事に係る予算管理 工事監督職員 工事関係者と協議 施設担当課へ進捗報告
	(1年)	(1年)	(1年)

9 維持管理の容易な工法等の選択

施設の維持管理に係るコストは、管理水準や採用する工法によって大きく変わります。

そのため、工事等を実施する際には、維持管理が容易かつ確実に実施可能な工法・仕様を採用するなど、コスト削減のため合理的な対策に努めます。

10 予防保全

公共施設の維持管理・更新等に係る中長期的なコストを縮減し、予算を平準化していくため、計画的に施設の維持保全等を図っていきます。

そのため、施設の設備等が故障してから修理する事後保全ではなく、あらかじめ決められた期間、決められた内容で、故障する前又は損傷が軽微である時期に機能の保全・回復を図る予防保全を推進します。

11 施設管理情報の蓄積

公共施設は、利用状況や設置された自然環境等に応じて劣化や損傷の進行は施設ごとに異なり、その状態は時々刻々と変化します。日常の施設管理の質を向上させるためには、各施設の状態を定期的な点検・診断により、正確に把握することが重要です。

そのため、点検・診断結果、修繕履歴等の情報を記録するとともに、公共施設包括管理業務委託による毎月の巡回点検や各種報告書を活用し、施設管理情報を蓄積することで、管理体制の強化を図ります。

12 予算管理

公共施設の維持保全工事や長寿命化工事を計画的に実施することで、施設の機能性や利便性等を確保しつつ、支出の抑制及び財政負担の平準化を図ります。

13 防災・減災等への対策

市内の多くの公共施設は、白井市地域防災計画により避難所に指定されています。避難所は、災害時に市民の避難施設として使用されるなど、重要な役割を果たしています。そのため、万一の災害等に備え、長寿命化工事等を実施する際には、併せて避難所としての施設の性能向上を検討します。

また、長寿命化工事等の機会を、安全性能の向上を図る一つの機会と捉え、道連れ工事を含めた、効率的・効果的な対策を推進します。

第4章 維持保全工事・長寿命化工事の実施時期等について

1 工事内容及び実施時期

各施設における工事内容及び実施時期については、施設整備の基本的な方針等に基づき、下表のとおりとします。

なお、表中の築年数は、建築した時から工事実施年度までの経過年数を示します。また、下表は本計画策定時点の情報を基に作成したものであるため、各施設における施設の更新等（長寿命化、複合化、用途変更、廃止等）の検討結果や今後の財政推計の見直し等を受けて、工事内容、実施時期は変更する場合があります。

【工事内容及び実施時期】

施設名	工事内容	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
白井市役所 ※1	維持保全工事 築年数	○ —									
保健福祉センター	維持保全工事 築年数			○ 22年							
高齢者就労指導センター	維持保全工事 築年数			○ 24年							
白井市民プール	維持保全工事 築年数			○ 32年							
白井駅前センター	長寿命化工事 築年数					○ 39年					
文化センター ※2	長寿命化工事 築年数					○ 32年					
学習等供用施設	長寿命化工事 築年数						○ 37年				
桜台センター	長寿命化工事 築年数							○ 34年			
清水口保育園	長寿命化工事 築年数								○ 26年		
福祉センター	長寿命化工事 築年数									○ 41年	
西白井複合センター	長寿命化工事 築年数										○ 49年
計	維持保全工事 長寿命化工事	1		3		2	1	1	1	1	1

※1 白井市役所外構（駐車場等）の整備です。建物本体の工事ではありません。

※2 文化センターの工事内容、実施時期は、文化センターのあり方検討委員会の検討結果を受けて策定する市の方針等により決定します。

2 維持保全工事・長寿命化工事に係る想定経費

単年度に支出する工事費は、維持保全工事・長寿命化工事を合わせて年2億円と想定します。計画期間10年間分では、20億円の経費がかかるものと想定します。

3 個別施設計画の継続的運用方針

本計画の進行管理は、計画策定の担当課である総務部公共施設マネジメント課が行います。公共施設マネジメント課は、公共施設の劣化状況等の把握に努めるとともに、関係各課と連携し、本計画の進行を図っていきます。

また、事業の進捗や劣化状況など、最新の結果を反映して本計画は適宜、見直すものとします。

白井市文化センターのあり方検討ワークショップ結果のまとめ

① 概要

- 「文化センターのあり方検討事業」の一環として、市民から施設の現状への思いや将来像、期待することなどについてご意見をいただく全 5 回のワークショップを実施。各回約 20 名の市民に参加いただいた。

② 各回のテーマ

- 第 1 回 白井、白井市文化センターのじまん・ふまんを考える
- 第 2 回 施設のコンセプトを考える
- 第 3 回 施設に必要な機能を考える
- 第 4 回 施設機能の規模、設備を考える
- 第 5 回 市民参加について考える

③ 全体の意見

- 施設面では、現状の機能を維持し、活用していくとともに、より幅広い利用に対応できるよう機能向上を求める意見が多かった。
- 運営面では、現状の企画等を維持しながら、子どもや若者を対象とした企画や事業全体の情報発信の強化などを求めるご意見をいただいた。
- 4 施設だけでなく、カフェやコワーキングスペース、人の集まれる多目的スペースなど、日常的に利用できるスペースを求める意見もいただいた。

④ 施設別の意見（施設面、運営面を含む）

	○維持	◇機能向上、運営での改善点
文化会館	○大ホールの音響、響き	◇中ホールの防音・遮音性の向上
図書館	○蔵書数、サービス	◇閲覧席、CD・DVD の追加、 児童コーナーの防音・遮音性向上
郷土資料館	○白井の歴史等の展示	◇子どもや若者も楽しめる企画
プラネタリウム	○充実したプログラム	◇利用しやすい投映時間の設定
共用部・その他		◇カフェ、コワーキングスペース、 多目的スペースの追加

⑤ 望ましい姿・コンセプトについての意見

- 生涯学習や文化の発信拠点、文化芸術以外も含めた文化的なトライアルの場
- 全ての市民が集まりたい場所、子どもや若者、現役世代も利用しやすい環境づくり
- 良い刺激をもらい、元気になって帰れる場所、新たな白井、新たな自分に出会える場所

⑥ 市民参加についての意見

- 文化会館のイベント鑑賞、図書館利用、プラネタリウム鑑賞、リモートワークで利用
- 利用者への図書館 PC の使い方をサポートする IT サポーター、お話し会のボランティア
- 劇・コーラス・合唱団など発表の場として出演したい
- 施設の省エネや改修について考える活動に参加したい

■市民ワークショップのご意見①

文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	共用部・その他					
●第1回テーマ「白井、白井市文化センターのじまん・ふまんを考える」										
【じまん】 ・音響が良い、響きは残してほしい ・施設が立派 ・キャパがちょうど良い 【ふまん】 ・公演情報がよく分からない ・子どもや若者向けの企画がほしい ・利用料が高い ・800人の集客が難しい ・有名人が来なくなった	【じまん】 ・ピアノグレードが良い 【ふまん】 ・音の制限があり、使い勝手が悪い	【じまん】 ・大きい、たくさん借りられる ・サービスが良い ・公民館でもオンラインで取り寄せられる 【ふまん】 ・CDや映画のDVDが少ない	【じまん】 ・設備、企画が良い 【ふまん】 ・近隣市の校外学習にも活用してほしい	【じまん】 ・該当なし 【ふまん】 ・イベントが若者向けでない	【じまん（施設・運営）】 ・幼い頃から文化に触れることができる環境がある ・劇場以外の施設がある ・文化施設が市の中心にある 【ふまん（施設・運営）】 ・サークルに使いやすいよう施設使用料を見直し ・文化祭だけでなく、市民の発表の場を増やしてほしい ・食事を食べる場所（フリースペース）が少ない					
【まちのじまん】 ・梨がおいしい、収穫量が全国でNo.1 ・小さいまちで人とのネットワークがつくりやすい 【まちのふまん】 ・市内の交通便（市バス）が少ない ・文化芸術のプレイヤー（若者）が市から出て行きがち						・緑が多く散歩が楽しい ・街が成長し続けていて若い世帯も入居しやすい ・ベットタウンでまちづくりに関心のある人が少ない ・観光施設やにぎわいのある魅力的な施設がない	・ふるさと祭りがにぎわっている ・学校の合唱が盛ん ・演劇や踊りのサークルの発表の場が少ない ・若い世代のコミュニティ拠点がない	・総合公園が美しい		
●第2回テーマ「施設のコンセプトを考える」										
【維持したいこと】 ・大ホールの音響の良さ ・大ホールの幼児と楽しめる席（親子室） ・白井市民文化祭、合唱コンクール ・市民の学びの場、発表の場 【新規追加したいこと】 ・イベントの充実（プロアマ問わず）、市民との共同企画 ・情報発信やPRの強化 ・文化芸術面での若者・子どもへの支援 ・中ホールを防音にし、演劇ができるように	【維持したいこと】 ・蔵書の多さ ・幼児、赤ちゃんへの読み聞かせ、おはなし会 【新規追加したいこと】 ・閲覧席の増設 ・子どもが利用しやすい空間 ・会話可能な空間 ・電子書籍の導入 ・書籍の紹介、発信	【維持したいこと】 ・設備、投映機 ・充実したプログラム ・学習投映 【新規追加したいこと】 ・気軽に利用できる投映時間や興味がわくプログラムの設定 ・PRの強化 ・他市の校外学習にも活用してPRにつなげる ・天体の展示を増やす	【維持したいこと】 ・無料 ・白井の歴史、文化の紹介、展示 【新規追加したいこと】 ・若者や子ども向けの企画 ・身近で子どもも楽しい体験 ・特別展は市外も含めてPR ・絵画展や写真展の開催 ・ボランティアによるガイド	【維持したいこと】 ・子どもにやさしい施設 ・施設間の連携事業 【新規追加したいこと】 ・カフェ・飲食スペース ・コワーキングスペース ・人の集まれる場、多目的スペース ・個人やサークルが気軽に発表できる場 ・若者や子どもが興味を持てる視点						
【各グループで検討いただいたコンセプト】 ・まずは市民が集まる→試す→参加する→継続する→看板ができる→発信する（市外にも）→集まる…というスパイラルが広がるようにしたい ・PRを強化して今あるものを最大限利用する ・白井を発見！自分を発見！～ここに自分がある～/白井に出かける 白井で出会う ・現役世代が足を運びたいような施設づくり（場所・スペース）/どの世代にも知ってもらいたい										

■市民ワークショップのご意見②

資料3-1

文化会館 大ホール	文化会館 中ホール	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	共用部・その他
●第3回テーマ「施設に必要な機能を考える」					
凡例：事業内容や要望→必要な機能等					
<ul style="list-style-type: none"> ・文化交流/発信の拠点にする →練習室/研修室の増設 ・子育て中でも文化芸術を楽しみたい →両ホールに親子席、託児所 ・パブリックビューイング →スクリーン、ネット環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の幅を広げる →防音/遮音性向上、舞台袖 ・音量の大きな楽器の演奏 →諸室の防音/遮音性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが靴を脱いで本を見られる場、声が響かない児童コーナー →児童コーナー、お話しの部屋の改築、防音/遮音性の向上 ・パソコン持込可のスペース →閲覧席、ネット環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・アロマや音楽とともに星を見る →客席に香りを出す装置を追加 ・屋上で天体観測 →設備機器と保管庫を設置 ・展示スペースの拡大 ・屋上の床を補修 ・屋上に車椅子の利用環境を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・着物、農具の体験コーナー →館内にイベントスペースをつくる ・郷土料理や地元の農作物の食体験 →館内に調理施設を新設 ・収蔵庫を更新して容積を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークができるスペース →小部屋（共用部）、電源、Wi-Fi、プリンター ・気軽に集えるスペース →オープンカフェ・交流スペース ・ロビーコンサート →ロビー、図書館の防音/遮音性の向上
運営面での変更、工夫についてのご意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・ホールが稼働しない日の楽屋、リハーサル室の活用 ・舞台技術スタッフを施設で養成する、文化サークルの育成講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが騒いでも良い日・時間を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを定期的に駅でPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示を1階のロビーにも置く 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある文化活動を探せる機能をつくる 	
●第4回テーマ「施設機能の規模、設備を考える」					
凡例：事業内容や要望→規模/設備等					
<ul style="list-style-type: none"> ・演劇・ダンスサークル、白井のアマ・プロ音楽家の発表会 →600名 ・パブリックビューイングで観戦・応援 →800名/スクリーン・ネット環境 ・レッスン室（音楽・ダンス） →50㎡・30㎡/防音、鏡（大ホールで催しのない日は市民利用可） ・楽屋・換気の設備の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏会・発表会・コンサート全般 →100~200名/防音、簡単な照明が打てる設備、舞台をより大きくして舞台袖をつくる ・子どもが遊べるイベント →遊具 ・デジタルコンテンツ →100名程度/VR/ARの設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ルーム（飲食・会話可、本を読んだり寝転んだりできる） →5組、20名程度/防水マット ・リモートワーク・ビデオ視聴用個室 →1~4名/防音、Wi-Fi、電源、モニター、プリンター ・庭に向けてのオープンスペース（森の読書学習室） →8~10名/カウンターとイス 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験・WS工作を増す →アトリエ併設（スキルを持った市民を講師に） ・考古発掘教室、かんたん古文書の読み方教室 →教室ができる場所 ・個人のコレクション →展示ケース 	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズ対象の野外授業、星見キャンプの疑似体験 →席を取り外して床全体を使えるようにする（可動席） ・お話し会（星座、民話、怪談） →80名/音響設備 ・星を見ながらお茶を飲める（プラネタリウムカフェ） →距離を取っておける数/個別ソファ席 	<ul style="list-style-type: none"> ・1階エントランスホール 休憩コーナー（会議等にも使用可） →テーブルとイスをいくつか ・リモートワーク用個室、会議室（週末は楽器練習室として利用可） →1人または4~8人規模/防音、電源、モニター、カフェ併設、館内共用のWi-Fi、プリンター ・屋外でのマルシェ・ファーマーズマーケット →100名/飲食スペース、電源
●第5回テーマ「市民参加を考える」					
凡例：①鑑賞者・体験者としての参加 ②サポートスタッフとしての参加 ③出演者・指導者としての参加 ④事業の企画推進役としての参加 ⑤事業パートナーとしての参加					
<ul style="list-style-type: none"> ①イベントに鑑賞者として参加 ②コンサートもぎりなど短時間サポート、広報などに関わりたい ③劇・コーラス・合唱団など発表の場として出演したい ④市民が主役になる発表会を100日で作ってみるプロジェクト、市内の子供たちに発表の場を提供、文化祭企画の見直しを提案し、個人でも発表会・展示会ができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ①書籍・CD利用、おしゃべりの場として使いたい ②施設利用者への図書館PC使い方サポートをするITサポーター、おはなし会のボランティア ④手書きPOP・コラムなどでおすすめの本をアピールする、読書会運営 	<ul style="list-style-type: none"> ②資料修補・遺跡発掘のお手伝い ④郷土を題材にした小説・歌・シナリオ公募、民話の読み聞かせ、昔の道具を使った生活体験企画、白井の遺跡や名所めぐりツアー、郷土資料館名物を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ①プラネタリウム鑑賞 ②星見会だけでなくいろいろなお手伝い ③デジタル技術活用の学習イベント、コンテンツを作り、3Dなどの技術の発信源を目指す、宇宙を題材にした小説の朗読会 	<ul style="list-style-type: none"> ①リモートワーク利用 ②バックステージツアーのサポート ③写真などの展示 ④施設を中心に白井駅から周辺環境作りに関わりたい、白井の文化芸術系コミュニティと市民を繋ぐ文化センターコンシェルジュ、市民参加で施設の省エネや改修を考える活動に参加したい ⑤地域文化クラブ・子どもクラブを育てる 	

資料 3-1 追加資料

白井市文化センターのあり方検討ワークショップ第5回終了時に実施した改修費用を踏まえた文化センターの今後のあり方に関する意見聴取について（報告）

- 1 目的 ワークショップの参加者に、施設への現状への思いや将来像、期待することについて意見をいただくこととは別に、開館当初と同じ機能を回復させるためにかかる改修費用を踏まえた上で文化センターの今後のあり方をどのように考えるか意見を聴取した。
- 2 実施方法 市から文化センターのあり方検討委員会の概要、あり方検討委員会におけるこれまでの検討内容の説明、市民アンケートの結果の紹介、現状機能を維持するには改修費用として 38.8 億円かかること、仮に廃止になった場合の問題点等を説明し、参加者から意見を募った。
- 3 留意事項 ワークショップでは、財政面の話をすると活発な話し合いがしばらくなるのではないかと考え、各回で設定したテーマの検討の際には改修費用については触れなかった。全5回の全てのテーマに関する討論等が終了し、一区切りとなった時点で実施した。
意見聴取は、出席者からの発言及びアンケートによる自由記載方式で行った。
- 4 結果 ワークショップの参加者の多くが音楽・演劇団体等に所属して文化会館で発表をされている方やプラネタリウムでボランティア活動をしている方で占められていたため、「規模の縮小」や「廃止」といった意見は出なかった。主な意見として、「文化センターは廃止すべきではない」、「文化活動はお金には代えられない」、「改修に係る予算を集める方法を考えてはどうか」、等が出された。

文化センターのあり方検討について

27

文化センターのあり方検討委員会の概要

1. 委員会概要

項目	内容
名称	文化センターあり方検討委員会
事務	文化センターのあり方について調査審議すること
委員	学識経験者、生涯学習推進委員会の委員、教育機関の職員、市民、市職員 計14人
任期	文化センターのあり方に関する検討が終了するまで

2. これまでの検討

	主な議題・報告事項
第1回 (令和3年2月)	・今後のスケジュール・文化センターのあり方検討に関するこれまでの経緯
第2回 (令和3年3月)	・今後の検討委員会の進め方 ・市の財政推計、財政健全化への取組み ・近隣自治体及び同規模自治体における文化施設等の設置・運営状況
第3回 (令和3年6月)	・近隣施設（文化ホール等）の調査結果 ・各館の基礎調査結果（利用状況の整理等） ・市民アンケートの結果（中間報告）
第4回 (令和3年11月)	・各種アンケート、ヒアリングの結果 ・再整備の方法や費用、今後の検討の進めかた ・検討委員会と市民参加の役割

文化センターのあり方検討委員会について

■文化センターあり方検討委員会のこれまでの検討概要

	特に質問、意見が挙がった議題	要望資料
第1回 (令和3年2月)		<ul style="list-style-type: none"> ・市の財政状況 ・市の現在の人口及び将来の人口推計 ・文化センターの運営経費 ・市民ワークショップ実施要項 ・同規模都市の文化施設規模調査 など
第2回 (令和3年3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・市の財政推計、財政健全化への取組み ・文化センターの運営経費 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設調査の結果 ・市民アンケートの結果（中間報告）
第3回 (令和3年6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託や民間施設との複合の可能性 ・学校利用における文化センターの重要性について 	<ul style="list-style-type: none"> ・Park-PFIや改修PFIの事例 ・各施設に付随する見積り費用
第4回 (令和3年11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・4パターンのあるあり方の方針（あり方検討の参考として提示された案） ・改修方針を松竹梅の3段階に分けた場合の竹案の概算算定一覧 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに詳細な見積り費用

第1回～第4回までのあり方検討委員会では、市の財政状況や仮に改修をする場合の見積り費用などをもとに、財政面から「文化センターのあり方」について先行して議論が進められました。また、検討の参考のため、市民アンケート、各施設の利用団体ヒアリング、本市民ワークショップを含む各種意見聴取の結果を委員会にて都度報告しています。

文化センターのあり方検討委員会について

■第4回あり方検討委員会で提示された主なあり方の方針 (あり方検討の参考として提示された案)

あり方の方針	改修概算費用	施設面積
①解体・新築	最も大きい (新築+既存解体)	現状～小規模
②増築(+改修)	大きい (増築+改修)	現状より大きい
③改修	中程度	現状程度
④廃止	小さい	小さい

⇒③のうち、開館当初同等の機能まで回復させる場合(※)の費用は、約38.8億
機能向上を含めると、さらに費用が大きくなる可能性が高い。

※大規模改修により、劣化が進行している施設を開館当初同等の機能まで回復させるとともに、利用者の安全確保、法的対応(既存不適格)に関わる改修を行う

※第4回委員会時点では、機能向上、機能縮減の方向性が定まっていなかったため、それらの場合の概算は未実施。

文化センターのあり方について

■各種調査の結果

利用団体を対象として行ったアンケートやヒアリングでは、施設の維持、機能向上を求めるところを多数いただきました。また、無作為抽出の市民を対象とした市民アンケートにおいても以下のようなご意見をいただきました。

【市民アンケートの自由意見より抜粋】

- 市民の憩いの場所、文化や芸術の場所としてセンターはあるべきものだと思います。(50代/女性)
- 白井市として誇れる施設なので、今後も維持・発展に期待します。(特に図書館・プラネタリウム(活動を含め)・大ホールが気に入っています。)まさに白井市の文化活動の拠点として充実化してほしいです。(50代/男性)
- 立派な施設で良いと思います。鑑賞・図書館・プラネタリウム・公園、桜もきれい。このまま縮小はしてほしくないです。(40代/女性)
- 幼稚園から中学生まで強く文化センターとの関わりがあり、大切な施設です。思い出がたくさんある文化センターをこれからも発展させてください。(10代/女性)
- 北総線が高額な為近くで楽しめる文化センターはとても大事です。税金のムダ使いをしないように工夫して続けていただきたいです。(60代/女性)
- 文化会館の充実、カフェなどの充実。文化センターに1日中いられるようなリニューアルを期待します。(50代/男性)

31

文化センターのあり方について

■各種調査の結果

市民アンケートでは、施設の維持・発展、機能向上を求めるところがあった一方で、少数ですが以下のようなご意見もいただきました。

【市民アンケートの自由意見より抜粋】

- 施設の大きさ・規模の適正化を。今後の人口動態含め、考えて進めるべき。(40代/男性)
- この絶望的なコロナ禍では何も要望できない。今後は縮小・削減はやむを得ないと思われる。(40代/男性)
- 箱物にはお金をかけてほしくはない。その都度補修して使えば良い。お金は大切に使って下さい。無駄遣いはやめましょう。(70代以上/男性)
- 文化センターにお金をかけるより、不妊・不育などに関する補助金など世帯、暮らしている市民の幸福に寄り添ってくれる市であってほしい。白井市は上記のような補助制度が手薄であり、住みたいと思えない。もっと魅力的な市になってほしい。(20代/女性)
- コンパクトシティを目指すとのことで市の中にいろいろな施設を作るのも良いと思いますが、それには財源も必要となります。市民の為になるものであってももっと根本的な市民サービスが公平に提供されるためには満足度の低いものや維持費のかかるものについては考え直していただきたいです。(50代/女性)

32

文化センターのあり方について

■仮に廃止となった場合の問題点

◎市内に代替施設がない

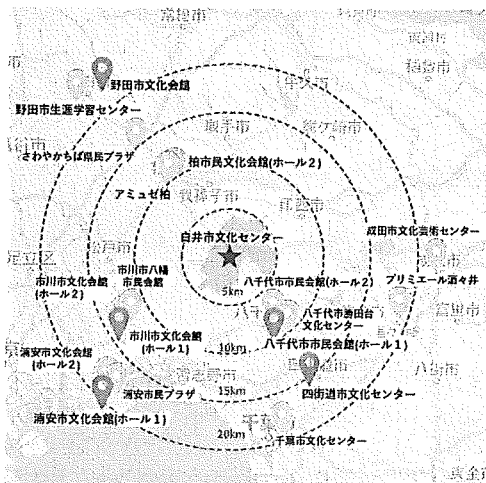
⇒文化会館（大・中ホール）、図書館、郷土資料館、プラネタリウムの4館いずれも市内に代替施設がないので、廃止の場合は、事業をどのように継続していくか、機能移転先の検討などが必要。

⇒ホールについては、近隣の同規模施設はすでに稼働率が70～80%となっており、廃止となった場合にも近隣施設を利用するのが難しいことが想定される。また、近隣施設では市外利用者に対して割増設定がある施設も多く、予約が取れても費用負担が増す可能性が高い。

文化センターのあり方について

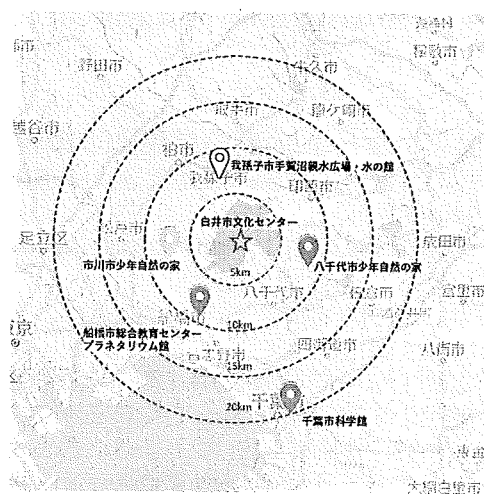
■仮に廃止となった場合の問題点

◎近隣に同規模・類似施設が少ない



【ホールを有する公立文化施設の分布】

- 文化会館大ホールと舞台寸法、客席（800席以上）が同等以上の施設
- 文化会館中ホールと舞台寸法、客席（300～500席）が同等の施設



【近隣のプラネタリウム施設の分布】

- ドーム径15M以上の施設
- ドーム径10～15M未満の施設
- ドーム径10M未満の施設

白井 施設見学アンケート 集計結果

1. 実施概要

日時：1月29日（土）

第1回 13時30分～14時50分

第2回 15時30分～16時50分

場所：白井市文化センター

会館棟：文化会館大ホール、フライギャラリー（すのこ）、天井裏、ピンスポット室、調光室・音響調整室、地下楽屋、空調機械室、大道具庫、ピアノ庫、奈落、舞台、大道具搬入口（開閉）、客席

図書館棟：屋上、2階事務室、研修室、中ホール、1階BM作業室、地下BM階閉架書庫、地下1階閉架書庫・中央監視室・熱源機械室

目的：普段立ち入ることのできない設備関係諸室（バックステージ）を見学し、今後の文化センターのあり方に関するアンケートにご回答いただくこと。開館以来27年が経過した施設の現状を確認いただくと共に、文化センターのあり方検討事業における市民意見を聴取する機会の一つとすること。

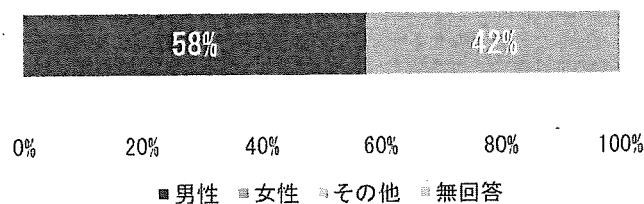
参加人数：第1回（13時30分～14時50分） 12名

第2回 15時30分～16時50分 7名 計19名

2. 参加者の概要

(1) 性別

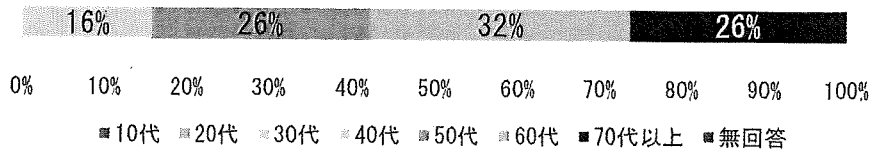
	男性	女性	その他	無回答
(人)	11	8	0	0



参加者の男女比はほぼ同率となり、性別の偏りはほぼ見られなかった。

(2) 年代

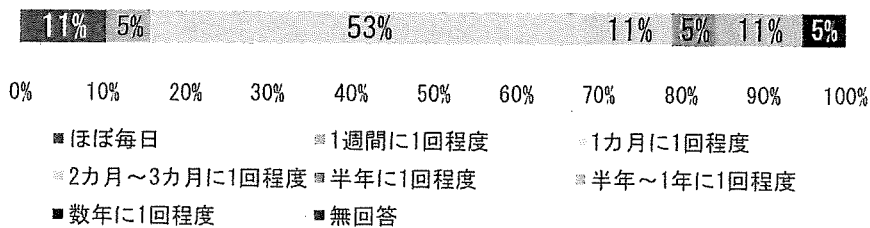
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
(人)	0	0	0	3	5	6	5	0



10代～30代の若い世代の参加者はおらず、60代以上が約半数を占めた。

(3) 文化センターへの来館頻度

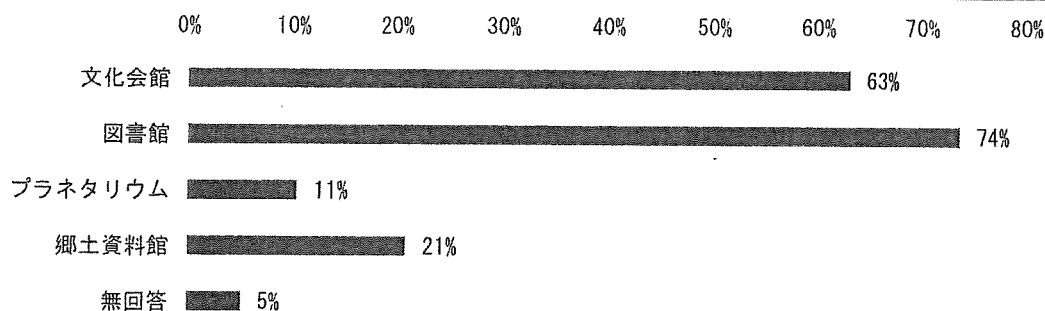
	ほぼ毎日	1週間に1回程度	1カ月に1回程度	2カ月～3カ月に1回程度	半年に1回程度	半年～1年に1回程度	数年に1回程度	無回答
(人)	2	1	10	2	1	2	1	0



1カ月に1回程度来館するという方が約半数を占め、文化センターに関心を持っている方が今回の施設見学会の参加者として集まったことが伺える。

(4) よく利用する施設 (複数回答可)

	文化会館	図書館	プラネタリウム	郷土資料館	無回答
(人)	12	14	2	4	1



図書館と文化会館をよく利用するという参加者が多かった。特に図書館は参加者の74%がよく利用すると回答した。

3. アンケート結果

(1) 見学して気になったこと

普段は見ることのできないバックステージを見学し、施設の裏側や運営についてよく分かったというご意見や、文化センターの設備の充実を実感したというご意見が多かった。また、施設の状態に関しては、劣化を感じたというご意見と、思いのほか良い状態で保たれていると感じたというご意見の両方が挙げられた。

(2) 新しい文化センターに期待すること

ハードに関するご意見としては、文化会館の耐震・安全性は確保してほしい、配信の需要も見据えて電気系統の整備が必要ではないかなど声があった。

ソフトに関しては、より多くの方に利用してもらうためにはどうしたら良いかという視点からのご意見が多く、子どもの利用・企業イベントの利用・演奏系の利用を促進させたいという回答があった。

(3) 廃止の場合に生じる問題

文化センターの廃止の可能性については、廃止に反対するご意見がほとんどだった。文化センターは市民の文化水準を保つために必要である、子どもたちや学校行事での発表の場として必要、白井市の売りの1つ・ランドマークとしての意味もある、市民のコミュニティスペースとして必要という回答が多かった。廃止・縮小しても良いという趣旨の回答は見られなかった。

機能ごとの概算金額に関して

前提条件について

- ・概算金額を下記の2つに大別する

①施設機能維持のための項目

- 機能ごとに分配可能、一部機能中止となった場合は削減できると思われる金額
(例：大ホールの特定天井改修、図書館の電動書庫など)

②施設管理・安全性確保のための項目

- 機能ごとに分配が難しい、一部機能中止となった場合でもコストの大きな削減は望めない
(例：外壁の補修、共用部や事務室に関わる項目など)

概算金額表（詳細は別表）

	①機能維持	②施設管理・安全確保等	合計	事業費 (H31)	職員数 (R2)
大ホール	建築/一般設備：6.6 億円	3.3 億円	20.3 億円	2,885 万円	4 人
	舞台設備：10.4 億円				
中ホール	2.1 億円	12.2 億円	18.0 億円	6,103 万円	9 人
図書館	2.9 億円				
郷土資料館	0.6 億円				
プラネタリウム	0.3 億円				
エントランス		0.6 億円	0.6 億円	—	—
			38.8 億円		

※四捨五入の関係により合計金額は一致しない場合がある

※職員は表の他に5人（センター長・施設管理担当）

- ・舞台設備（舞台機構、照明、音響等）は、文化会館棟の改修費用のうちおよそ半分の金額を占めている。これまで大規模な更新を行ってきていないことから、「①機能維持」に係る金額の割合が大きくなっている。
- ・図書館棟は、事務室や機械室等の共用/管理部分を含むため、「②施設管理・安全確保等」に係る金額が大きくなっている。

白井市文化センター 概算算定一覧（竹案）：機能ごとの金額提示案

竹案：大規模改修により、劣化が進行している施設を開館当初と同等の機能まで回復させる案。その他利用者の安全性確保、法的対応（既存不適格事項への対応）に関わる改修を行う。

No.	分類	項目	内容	概算金額（単位：千円・10%税込）							合計	備考		
				文化会館棟		図書館棟				エントランス ホール棟 (エントランス/カフェ)				
				機能維持	施設管理等	機能維持			施設管理等					
				大ホール	その他	図書館	中ホール	郷土資料館	7.ラネリアム				その他	
1	躯体	・特定天井改修	①大ホール天井の準構造化	244,200							244,200	・大ホール床面積 540m2で算出		
2	建具・壁床天井	・劣化している箇所の補修 ・塗装、仕上げ材更新	①大ホール出入口扉のドアローラーの更新 ②外部鋼製建具塗装	6,400					700		7,100			
3	外壁	・タイルの剥落防止 ・庇部タイルの清掃、補修	①外壁タイルの調査、補修 ②外壁塗装面の調査、補修 ③外壁、外部建具廻りシール打替 ④屋上、屋根防水の更新、補修 ⑤外部足場架設解体		85,800					124,300	14,300	224,400	・タイル補修は、全タイル面積の1~2%で想定 ・クラック補修は、1m/30~40m2で想定 ・既存押えコンクリートの上に塩ビシート防水	
4	空調	・空調設備の更新	①空調機器の更新 (冷却塔、冷温水発生器、HPチャ、AHU、PAC、FCU) ②送風機、排煙機の更新 ③自動制御機器の更新 ④冷温水、冷却水配管、ダクトの劣化調査	156,200	81,400	197,800	54,200	48,000	26,700	133,100	28,400	725,800	・鋼板製ダクト、冷温水・冷却水ポンプは更新済のため除く ※冷却塔、冷温水発生器、HPチャは図書館棟に含む ・ベタ類、制気口類は、既設再利用 ・配管・ダクト類は、内視鏡及びX線調査のみで、更新は除く	
5	給排水衛生	・給排水設備の更新	①給排水機器の更新 (受水槽、排水ポンプ、消火補助水槽、給湯器) ②衛生器具の更新、洋便器化 ③給水管、排水管の劣化調査	50,600	8,800					136,400	3,100	198,900	・加圧給水ポンプは更新予定のため除く ・CO2消火設備、消火器は除く（消防点検にて対応） ・配管は、内視鏡及びX線調査のみで、更新は除く	
6	電気	・電気設備の更新	①電気設備更新 (高圧引込、キュービクル、発電機、盤類) ②全館LED化 ③洋便器化に伴う電源工事	52,800	156,200	34,900	5,800	7,000	3,200	681,600	9,900	951,400	・ケーブル類は既設利用だが、接続箇所や損傷棟を考慮し、2m/器具1台を計上 ・ケーブルラック、バスダクト、配管、オイル配管、ボックス類は既設再利用 ※高圧引込、発電機は図書館棟に含む	
7	防災	・既存不適格事項の改善	①ELV3台リニューアル (ELV遮煙対応含む)	146,300						141,900		288,200	・全面更新で計上（遮煙扉のみの対応は不可） ・防災、弱電設備の機器更新は除外 ・文化会館棟1台(大)、図書館棟2台	
8	舞台	・舞台設備の更新 ・舞台照明LED化	【舞台機構】 ①吊物設備更新 ②迫り駆動部更新 ③制御盤・操作盤更新 ④幕類更新	435,600			24,800					460,400		
			【舞台照明】 ①負荷設備：各種照明器具の更新・LED化 ②調光設備：調光盤・卓更新 ③移動器具：照明器具、効果器類、ケーブル類更新	385,000			68,800						453,800	
			【舞台音響・映像】 ①スピーカー、アンプ更新 ②音響機器架 ③マイク、ケーブル類更新 ④ITV、連絡設備更新	217,900			55,600							273,500
9	その他	・電動書庫更新	①図書館電動書庫の更新			54,300						54,300	・ブロック1一部部品は実施済みのため除く	
計				1,695,000	332,200	287,000	209,200	55,000	29,900	1,218,000	55,700	3,882,000		
棟小計				2,027,200		1,799,100				55,700				

※特記事項

- ・概算金額は10%税込、工事費のほか共通仮設費・諸経費等を含む ・2021年10月時点での概算金額に拠る（施工が数年後となるため、その際の物価上昇率は考慮されない）
- ・施工時は1年程度の全館休館を行う想定とする（棟ごとの工事とする場合は日中の大きな音を伴う工事時間が限られるため、工期延長/夜間工事に伴う工事費増額が発生する可能性がある）
- ・配管類の劣化調査により更新が必要となった場合の費用は含まれない ・アスベスト、その他汚染物質（PCB等）の撤去費用は含まれない

文化センターのライフサイクルコスト (LCC) 概算に関して

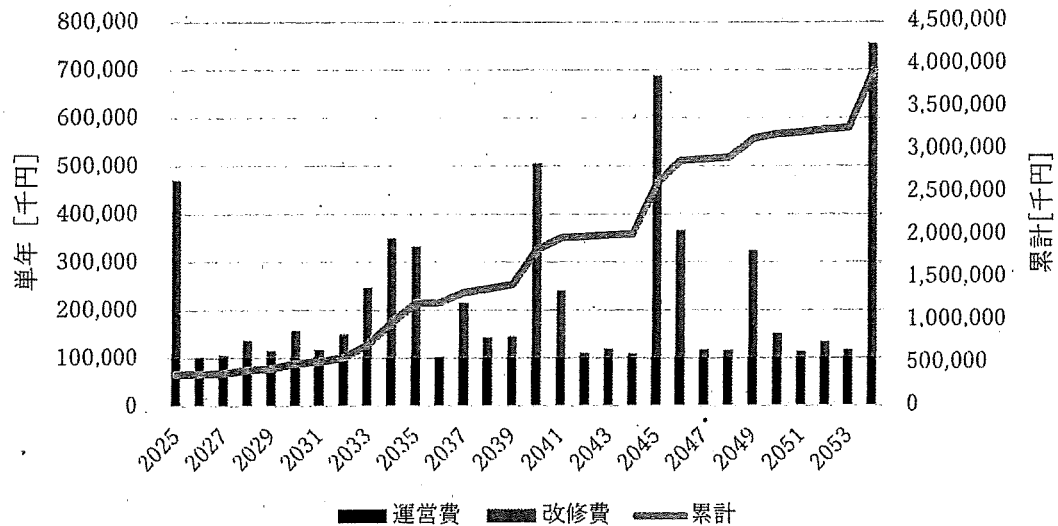
前提条件について

- ・大規模工事を 2025(令和7)年に実施 (LCC 0 年目)、前回委員会で提示した「改修竹案」を基準とする
- ・建物の耐用年数を鉄筋コンクリート造の建物における標準である「60 年」と設定する
- ・試算は「建築物のライフサイクルコスト第2版」(発行:一般財団法人建築保全センター 監修:国土交通省大臣官房官庁営繕部) のシミュレーションソフトによる (個別の算出根拠は下記のとおりとする)

- ①延床面積 10,136 m² (文化会館棟 3,622 m²、図書館棟 6,161 m²、エントランス棟 354 m²)、耐用年数 60 年 ([1994 年~]2025 年改修~2054 年)、消費税率 10%とする
- ②0 年目の改修費用は施工業者による概算見積り金額 (改修竹案) を採用する
- ③建築及び一般設備の LCC については「建築物のライフサイクルコスト第2版」のコスト算定プログラムを利用する (「中規模事務庁舎」のモデルをベースとし、各施設特有の設備を下記の通り別途加算する)
- ④舞台特殊設備、閉架書庫、解体費用は施工業者等による概算見積り金額・同規模施設における金額を採用する
- ⑤管理運営費用は「文化センター運営経費 (H31)」における歳出金額を採用する
- ⑥設計費・監理費等を含む
- ⑦初年度の改修工事費(38.8 億円)、事業費(リース機材含む)・人件費等は試算に含まない

施設全体：概算総額 68.6 億円、平均 2.4 億円/年

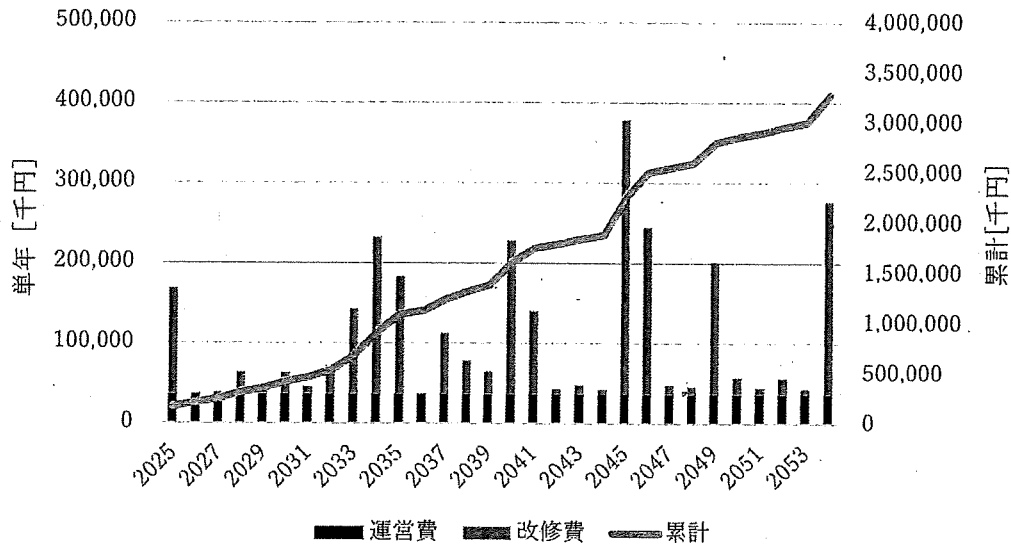
ライフサイクルコストの単年額と累計額



- ・初年(2025 年)には主に設計費、監理費が計上されている
- ・その後は 5 年、10 年、15 年…という周期で、大規模な機器更新が行われる
- ・最終年は施設の解体費用が計上されている

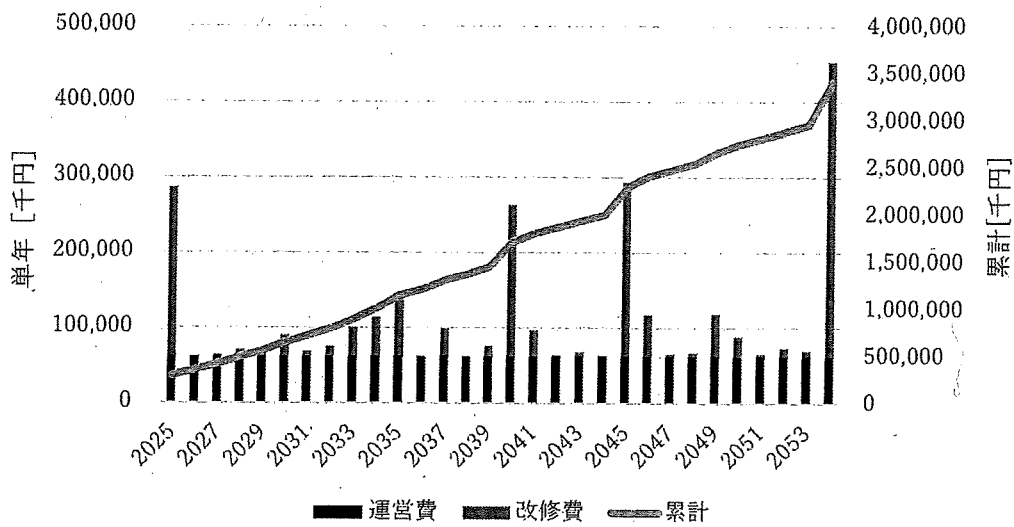
文化会館棟：概算総額 32.8 億円、平均 1.1 億円/年

ライフサイクルコストの単年額と累計額
(文化会館棟)



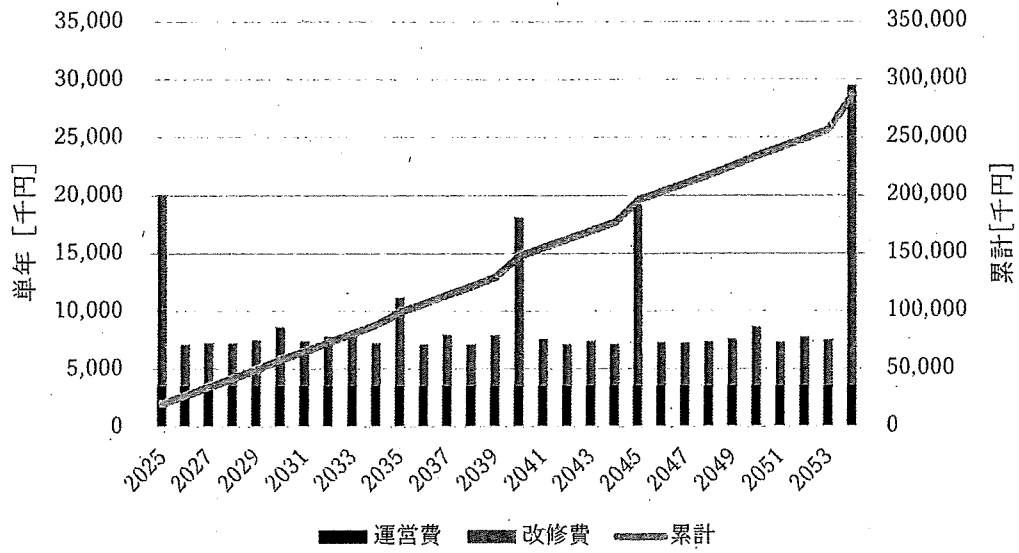
図書館棟：概算総額 34.1 億円、平均 1.2 億円/年

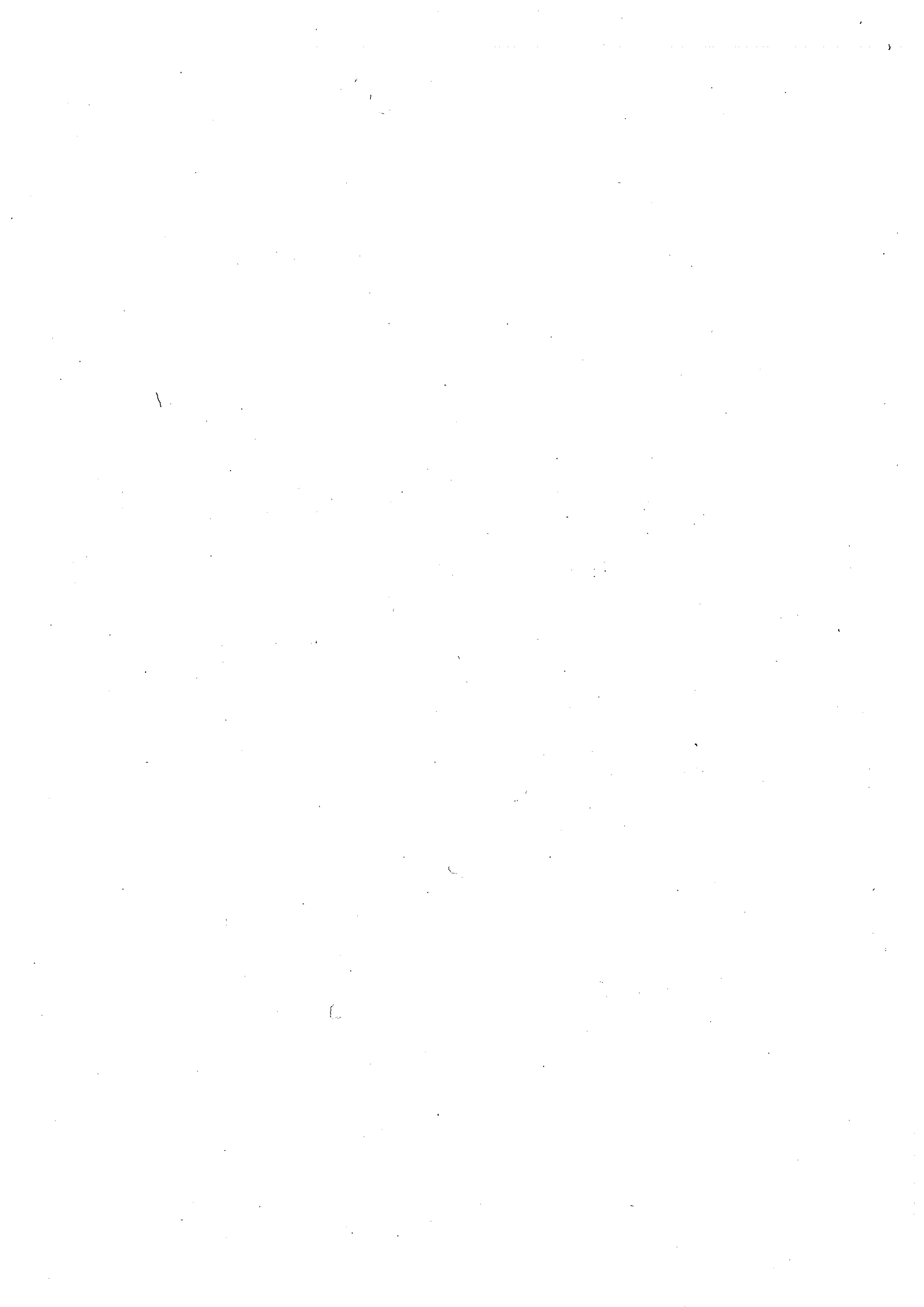
ライフサイクルコストの単年額と累計額
(図書館棟)



エントランス棟：概算総額 1.8 億円、平均 620 万円/年

ライフサイクルコストの単年額と累計額 (エントランス棟)





白井文化センターのあり方検討委員会 今後の流れに関して

第1回～4回:

- ・前提条件の整理(今までの検討経緯、現地調査、市の財政状況、人口推計等)
- ・市民意見聴取の報告(市民アンケート、ヒアリング、市民ワークショップ①～③等)
- ・概算工事費の提示(現状機能を維持するため最低限必要な改修費用[改修竹案]38.8億円)

第5回:3/18(金)

- ・市民ワークショップ④⑤・施設見学会結果報告
- ・概算コスト提示(棟ごとの竹案改修費用・開館60年目までのLCC・一部改修松案の概算費用)
- ・委員からの意見聴取(コスト関係・市民意見を踏まえ、施設の方針に関して各委員から意見を聴取
⇒第6回の施設理念(案)に反映)
- ・他自治体の施設理念案を配付
- ・今後のスケジュール案の提示

第6回:5月

- ・文化センターの方針、委員会での大方針を基に施設理念の(案)を提示、意見聴取
- ・施設構成・導入機能、各部門の整備方針案を提示、意見聴取

第7回:8月

- ・第6回のテーマと同様、内容の詳細化

第8回:10月

- ・提言書素案の確認、「提言」の文章案

=市民意見交換会=11月(第8回委員会を受けた修正案を提示)

=パブリックコメント=12月

第9回:令和5年1月

- ・第8回での意見、パブリックコメントによる意見等をふまえ、最終版提言書提示
- ・委員会において承認を受ける

今後の文化センターのあり方の検討について その1：白井市文化センターの施設理念に関して

1-1. 現文化センターの設置目的（条例等より抜粋）

●文化センター

設置目的 市民が生涯を通じて自己啓発及び自己研修に努め生きがいのある生活を送るため、文化センターを設置し、生涯学習の総合的な推進を図る。

○文化会館

設置目的 市民の芸術文化の向上及び福祉の増進を図る。

業務 文化活動のための施設の提供、集会のための会場の提供等。

○図書館

設置目的 地域の事情及び市民の希望に沿い、更に学校教育援助及び家庭教育の向上等を目的とする。

業務 図書館資料の収集、整理及び保存、利用、資料相談及び参考調査、他の図書館との連絡、協力及び図書館資料の相互貸借、市内の学校、公民館等の関係機関との連絡および協力、読書会、研究会、講演会等の主催及び奨励、読書団体との連絡、協力及びその活動推進、広報及び読書普及活動等。

○郷土資料館

設置目的 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与する

業務 郷土の歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料の収集、保管、及び展示。資料の利用に関する必要な説明、助言、指導、専門的・技術的な調査研究等。

○プラネタリウム

設置目的 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与する

業務 天文学に関する資料の収集、保管、及び展示。資料の利用に関し必要な説明、助言、指導、専門的・技術的な調査研究等。

1-2. 上位計画等における文化センターの役割

「白井市第5次総合計画 後期基本計画」令和3年

- ・基本構想で掲げられた市の将来像「ときめきとみどりあふれる 快活都市」
- ・重点戦略：①若い世代定住プロジェクト、②みどり活用プロジェクト、③拠点創造プロジェクト
- ・図書館サービス推進事業、図書館資料整備事業、プラネタリウム館運営事業、市民学芸スタッフ古文書修補活動事業、郷土資料館展示・教育普及事業、文化会館自主事業運営事業・・・

「白井市第2次教育大綱」、 「教育振興基本計画」 令和3年

- ・ 社会教育の基本方針：地域の拠点を活かして人と地域と学びの場を結ぶこと
- ・ 生涯学習の基本方針：スポーツ、文化、芸術、郷土の歴史等、自己を高める学習活動を応援すること
- ・ 地域に密着した多様な学習機会の提供
- ・ 地域交流の場の提供
- ・ 図書館サービスの充実
- ・ 天文や宇宙の学習・理解の場の充実
- ・ 市民の文化芸術活動の支援
- ・ 文化・芸術の鑑賞機会及び発表の場の提供
- ・ 郷土史の発信と継承

「白井市都市マスタープラン」 平成28年

・ 都市づくりに活かしていく特性：

○若い年齢構成による活力…人口の年齢構成が比較的若く、推計では高齢化は進展するが、生産年齢人口の割合が多くを占める状況となっており、活力ある市民が居住する状況が継続すると想定される。市の都市づくりにとって有効な資源。

○地域力と市民力…伝統的に自立的な地域力をもつ集落が存在するとともに、千葉ニュータウン事業などによって多様な市民が転入してきたことで新しい市民力が生まれてきている

・ 都市づくりの課題：

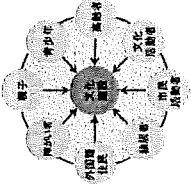
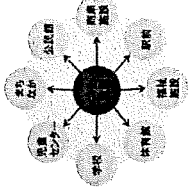
○拠点市街地の形成…拠点的な公共公益施設の整備のインパクトを活かしたにぎわいの核をつくるとともに、周辺への波及効果を高めていくことにより、中心都市拠点としての機能を高めていくことが求められる。

○地域力・市民力の活用…地域力や市民力を活かした事業を生み出すことにより、まちのにぎわいづくりや魅力の再生を目指していくこと

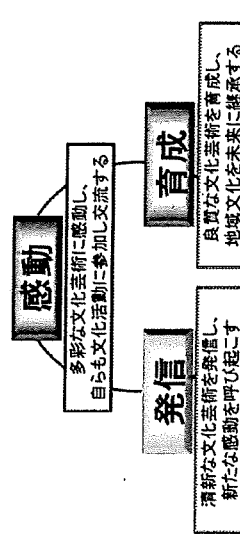
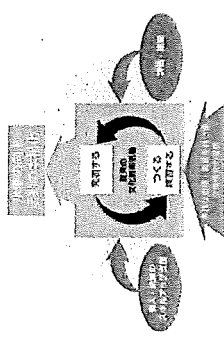
(参考) 「(仮称)白井町文化会館等基本設計報告書」 平成3年

- ・ 本施設は大規模で、半永久的な建築物であるから、将来展望を十分見極めたものとする
- ・ 住民の利用しやすい施設であること
- ・ 総合防災の観点から、耐震性はもちろん、防火・防災に配慮した施設であること
- ・ 身体障害者及び子供からお年寄りにも、気軽に、安心して利用できる施設であること
- ・ 建設費及び管理運営費の低廉化、並びに省エネルギー対策を考慮した施設であること
- ・ 「白井総合公園」の一施設として総合的な景観と外部空間形成を考慮した施設であること

■基本理念策定背景に関する事例

事例	<p>(仮称)香椎副都心公共施設基本構想 (平成24年3月) 図書館、市民センター、行政機能等の複合</p>	<p>ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画 (令和元年6月) 東地域文化施設：公民館、コミセン等の複合 西地域文化施設：公民館、図書館の複合</p>
基本理念	<p>明記なし</p>	<p>「楽しいね」「また行こう」新たな楽しみに出会える ふじみ野の文化と人の交流拠点</p>
概要	<p>〈施設整備の基本的視点〉 (1) 東部副都心のまちづくりの視点から『にぎわい』の創出 (2) 隣接する「並木広場」を活用した快適な空間形成による『くつろぎ』の演出 (3) 東区为中心的な位置としてのコミュニティの拠点づくりの視点から『つどい』の支援</p>	<p>文化施設の基本理念、求められる機能は2つの文化施設で担っていくものとしたうえで、それぞれの取り組みの方針、機能を定めている。 〈西地域文化施設の基本方針〉 さまざまな目的を持つ人が集まる「みんなの広場」  〈東地域文化施設〉 広域的な事業展開による「アートあふれるまち」づくり </p>
策定背景	<ul style="list-style-type: none"> ・上位計画で計画地区は広域的な都市拠点の形成を図ることや文化・行政サービス機能等の充実を目指すことが位置づけられている。 ・上位・関連計画における位置づけや市内類似施設の状況を整理。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の社会教育（公民館事業）を継続しながら、多くの人の利用が可能な文化施設として、再整備することとなった。 ・全市民が行ってみたいとなる施設を目指すため、「楽しさ」「遊び」を重視。

■基本理念策定背景に関する事例

事例	<p>福井市文化会館整備基本構想 (平成 29 年 3 月)</p>	<p>文化施設等の整備及び活用方針並びに (仮称) 市民会館うらわ基本構想 (平成 31 年 2 月)</p>
基本理念	<p>感動・育成・発信</p>  <p>多様な文化芸術に感動し、自らも文化活動に参加し交流する</p> <p>発信</p> <p>最新の文化芸術を発信し、新たな感動を呼び起こす</p> <p>育成</p> <p>良質な文化芸術を育成し、地域文化を未来に継承する</p>	<p>「楽しむ」から「楽しませる」へ、「観る」から「魅せる」へ 変化と成長を促す新たな文化芸術の創造・発信拠点</p> 
概要	<p>〈基本的な役割〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①鑑賞の場をつくる (鑑賞機能) ②交流と活動の場をつくる (交流機能) ③創造支援・人材育成の場をつくる (創造機能) ④地域文化の継承と活用 (継承機能) ⑤文化情報の収集と発信 (情報機能) ⑥人が集まる場をつくる (集客機能) 	<p>〈本施設に求める役割〉</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) さいたま市の優れた文化芸術の発信 (2) ゆるやかにステップアップができる諸室・機能の提供 (3) 市民の活動の質を高める取組 (4) 専門性の高い諸室の提供 (5) 活動が見える施設づくり (6) 地域の魅力ある資源との連携 (7) 交流を生むしかけづくり
策定背景	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県のメインホールとして、文化の殿堂を引き継ぐ総合的な文化創造拠点とすることを示した。 ・市内にはクラシック専用、多様なイベントに対応する2つのホールがあることから、良質な多機能型ホールを目指す。理念も全方位的。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習から小規模な発表会、ホールでの発表会までステップアップしやすい環境を整備し、育成していくイメージから、「楽しむから楽しませる、観るから魅せる」としている。

今後の文化センターのあり方の検討について（その2）

1 仮に改修を実施した場合の経費

- (1) 現状維持を目的とした改修を実施する場合の経費 約 38.8 億円
- (2) 施設別（機能別）改修経費 今回報告

2 今後の文化センターのあり方検討を進める上での課題

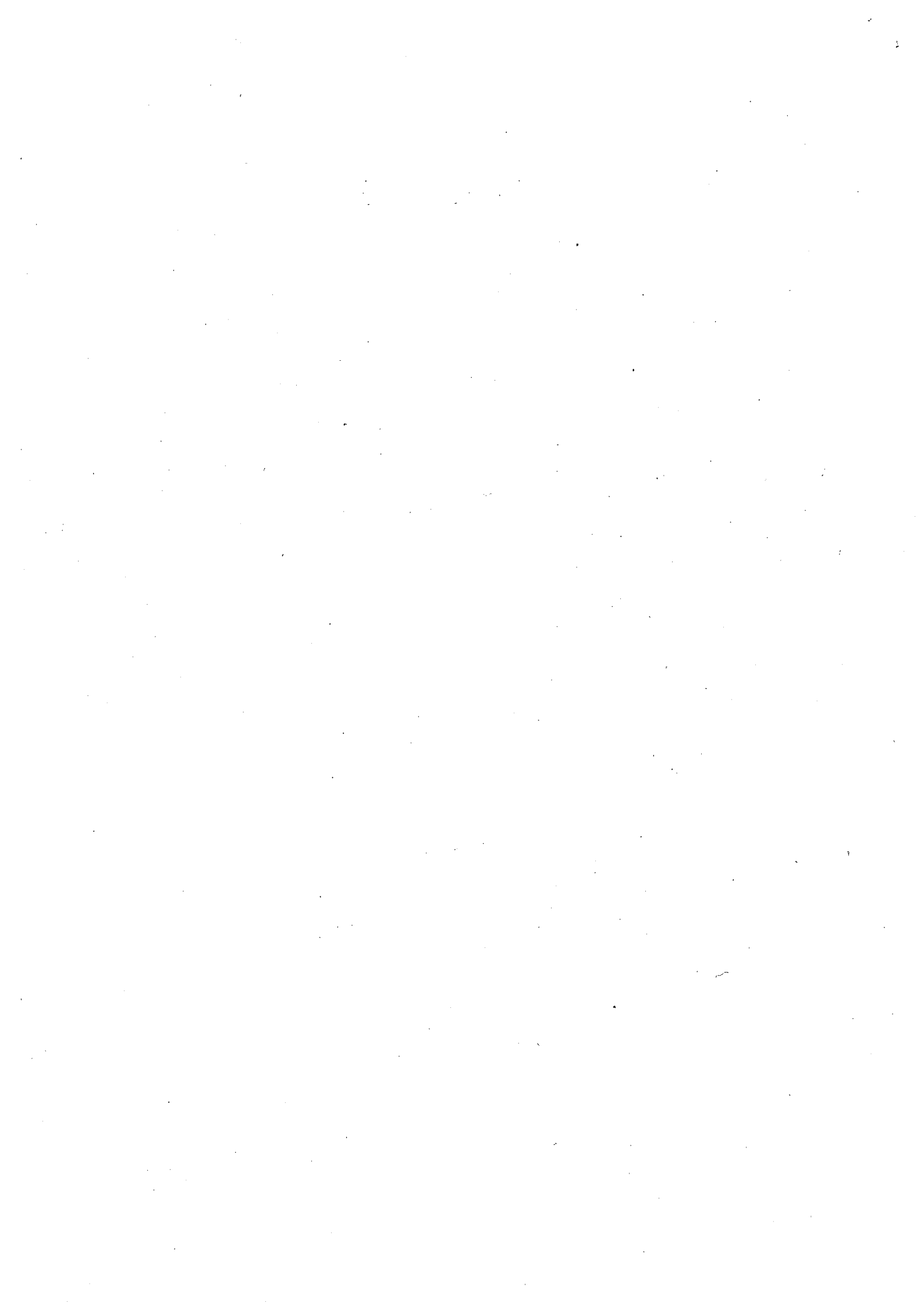
(1) 文化センターの置かれた状況

- ① 文化会館、図書館、郷土資料館、プラネタリウム館の4館いずれもが市内に代替施設が存在しないため、各施設の廃止は白井市における各館が有している機能を廃止することとなる。そのため、仮に廃止となった場合には各館で実施してきた事業を今後どのように実施していくか検討する必要がある（現在ある別の公共施設を代替施設として利用していく等）。
- ② 現在、各地で公共施設の集約化や統合化が進められているが、文化センターは既に機能が異なる4館の複合施設であり、さらに集約化や統合化を進めることが難しい。広域連携という手法もあり得る。ただし、現段階で実現の可能性は不明。
- ③ 平成6年の開館以来設備の修繕や更新を実施してきていないため、舞台装置や空調、給排水、電気設備は修繕ではなく更新が必要となる機器が多い。現状の機能を維持するだけの改修を実施した場合であっても、改修費用として約 38.8 億円が見込まれる。
- ④ 文化会館大ホールの天井は特定天井に該当し、建築基準法上、既存不適格な状態にある。仮に大規模改修を行う場合には、建築基準法に適合した改修が必要となる。

(2) 今後の文化センターのあり方の検討について

文化センターを構成する4館について、これまで進めてきた財政面からの検討に加え、市民意見の結果なども参考としながら、さらに将来の維持管理費（ライフサイクルコスト）、施設理念等についても調査審議を行う。

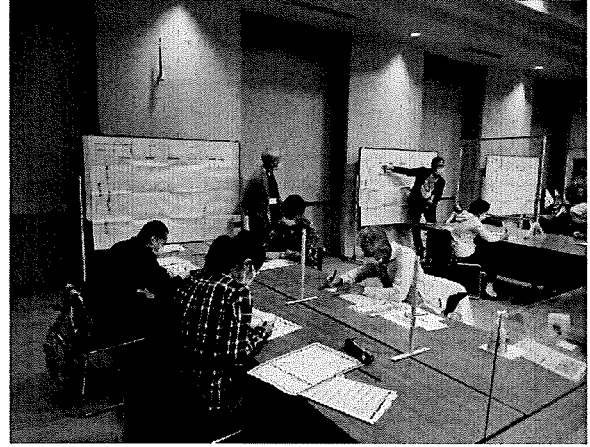
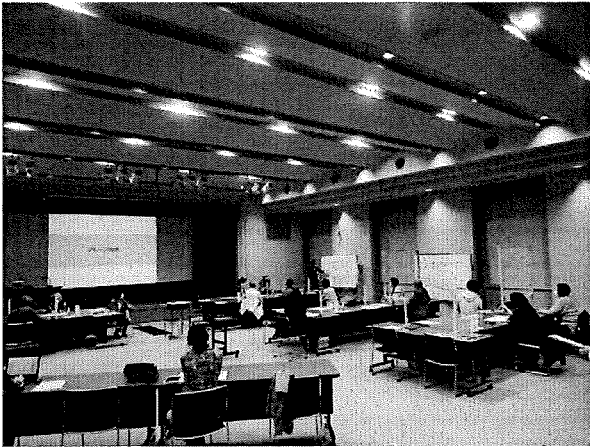
そして、規模拡大・現状維持・縮小・廃止等、今後の利用方法について検討委員会としての方向性を判断し、提言をまとめていく。



おもしろいぞ白井!! Vol.02

2021.11

令和3年11月2日(火)、第2回白井市文化センターのあり方
検討ワークショップが開催されました!



施設のコンセプトって?

今回のテーマは「施設のコンセプトを考える」ということで、4グループ16名の参加者の皆さんに意見交換していただきました。

施設のコンセプトとは、施設の設定目的・役割など施設の基本的な考え方をまとめたものです。「基本理念」と表現されることもあり、施設の「目指すべき姿」を示す目的があります。施設のコンセプトを考えることは、施設の基本的な考え方を広く分かりやすく伝えるため、また、関係者が共通認識を持って施設面・運営面で一体的な整備・運用を行うために非常に重要です。

現在の白井市文化センターは「市民が生涯を通じて自己啓発及び自己研修に努め生きがいのある生活を送るため、文化センターを設置し、生涯学習の総合的な推進を図ることを設置目的に掲げています。

今回のワークショップでは、これらの文化センターの目指すべき姿をコンセプトとして検討していただきます!

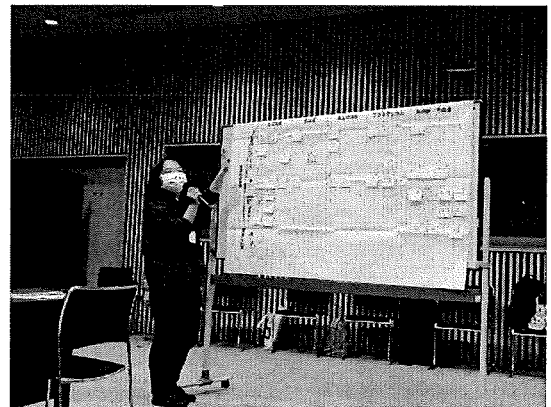


今回のテーマ「施設のコンセプトを考える」

グループワークでは、まず文化センターに残したいもの・新たに欲しいものを挙げていき、将来どんな施設にしていきたいか?どんな施設なら多くの市民に活用されるか?という視点を通してコンセプトを考えていただきました。

残したい点としては、文化会館大ホールの音響の良さ・図書館の蔵書の多さが複数のグループから挙げられ、新たに欲しい点としては、子供・若者向けプログラムの充実やPRの強化を求める声が目立ちました。コンセプトについては「様々な世代が利用できる施設」「市民が集まる場」「白井という地域の魅力を活かしたい」という意見が多く挙がりました。(詳しいご意見または裏面の表を参照ください。)

次回も沢山の意見お待ちしております!



ワークショップのご意見

※沢山のご意見をいただきましたので、一部表現を変更・修正して掲載しております

維持したいこと・新しく追加したいことから、白井文化センターのコンセプトを考える！

グループ		文化会館	図書館	郷土資料館	プラネタリウム	共用部・その他	
くり	維持したいこと	音響の良さ 市民の活動の発表の場	蔵書の多さ 市外の人への貸出し 夜の開館	無料 子供が白井愛を持つきっかけ	プラネタリウムの情報発信 充実したプログラム	子どもにやさしい施設 飲食物の自動販売機があると良い 環境にやさしい設備	
	新規追加したいこと	プロ/アマ問わず 市外へも情報発信できるように ダンスなどの事業の企画 白井の看板となるイベント	書籍の紹介・発信 電子書籍があると良い 館にない本も探してほしい	ボランティアによるガイド 再訪したくなる展示 ナイトミュージアム	気軽に利用できるように(時間、興味が変わり内容など)	文化に興味のない市民も巻き込む デジタルツールも使ったアウトリーチ 異文化を知るきっかけに	
	望ましい姿	全ての市民が集まりたい場所 文化の発信					
	コンセプト	文化拠点…舞台芸術以外にも広げたい。文化的なトライアルの場 市民が使いやすいこと SDGs、サステナビリティ					
		まずは市民が集まる→試す→参加する→盛り上げる→継続する→看板ができる→発信する(市外にも)→集まる… というサイクルが広がるようにしたい					
松ぼっくり	維持したいこと	白井市民文化祭、合唱コンクール 音響の良さ	蔵書の多さ		子ども向けの鑑賞事業 設備 放映機 充実したプログラム	子供の教育 施設間の連携事業	
	新規追加したいこと	市民との共同企画 定期的にコンサートを開催(プロ/アマ問わず) 文化芸術面での若者・子供への支援 文化芸術に長けた人を職員に起用 白井市出身の文化人の発掘・紹介 企画やPRの充実	本以外の強化 閲覧席の増設 子供が利用しやすい空間 (騒いでも良い、靴を脱いで上がれる)	土器づくりWS 若者や子供受けする企画 絵画展/写真展も開催	月曜日の天体現象イベント 自分の生まれた日の星を見る	駅からの道が分りにくい 駅からの道に工夫が必要 若者や子供が興味を持てるような視点 早くカフェを復活 ロビーコンサート 日/休のバス追加 公園との一体運用	
	望ましい姿	若者が興味を持てる 若者が利用しやすい環境 子供の居場所 幼児を連れていきやすい 白井を発見! 癒し 自分を発見!					
	コンセプト	幼児~若者が利用しやすい 元気になる帰れる ワクワクできる 生きがい ホームグラウンド 良い刺激					
		①白井を発見! 自分を発見! ~ここに自分がいる~ ②白井に出かける 白井で出会う					
ぎんなん	維持したいこと	演劇・ミュージカル 音響の良さ	幼児/赤ちゃんへの読み聞かせ、おはなし会		子ども向け/大人向け企画 ユニークな催し	カフェ/飲食スペース コワーキングスペース 人の集まれる場、多目的スペース	
	新規追加したいこと	大ホールをリーズナブルに 中ホールを防音に 中ホールで演劇ができるように 子ども向け事業	ビブリオバトル等の催しをもっとアピール 集いの(会話可能な)空間 カフェ	身近で、子供も楽しい体験(勾玉づくり/火起こし/衣裳など)	PRの強化 事業企画の周知 映画上映を行い、知名度アップ	個人/サークルが気軽に発表できる場 おしゃれで高級感のある外観 野外ステージ	
	望ましい姿	①現役世代が足を運びたいような施設づくり(場所・スペース) ②どの世代にも知ってもらいたい					
どんぐり	維持したいこと	老朽化しても修理して使って 音響の良さ 市民の学びの場/発表の場 幼児と楽しめる席は必要	蔵書の多さ 読み聞かせや紙芝居 風通し	白井の歴史・文化の紹介、展示	学習放映 充実したプログラム	ベンチ 駅からのアクセス カフェ・飲食スペース サイクリングコースや運動できる場	
	新規追加したいこと	企画、情報発信が弱い 幅広いイベントを催し利用者増加 市内でも音楽/文化に触れられる(東京に行かなくても)		展示される古文書の解説 特別展示で市外も含めてのPRを	天体の展示がもっと増やしてほしい 他市も校外学習で利用してほしい(市外へのPR)	環境にやさしい設備 エレベーターが殺風景(PRの場には)	
	望ましい姿	生涯教育 健康で文化的に暮らせる中心地 多用途 総合公園とつながったマラソンコース サイクリングコース					
	コンセプト	PRを強化して今あるものを最大限に利用する					

なんでもアンケートのご意見

ユニークなアイデアに共感します。
白井愛にあふれたワークショップでした。

人との出会い、集いの場を設ける意見が多く、
街の活性化に一番必要なことだと認識しました。

皆さんの「実感のこもった」意見を
伺って勉強になりました。

同じグループの方の意見を伺い、白井市が行っている文化活動は
様々なものがあるのだと知る事が出来ました。
何かに参加してみようかなと思いました。

次回予告

「施設に必要な機能を考える」
2021年12月7日(火)18:30-20:30
@文化センター中ホール

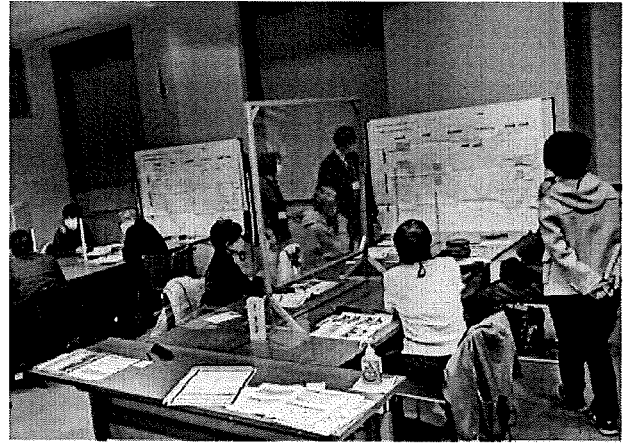
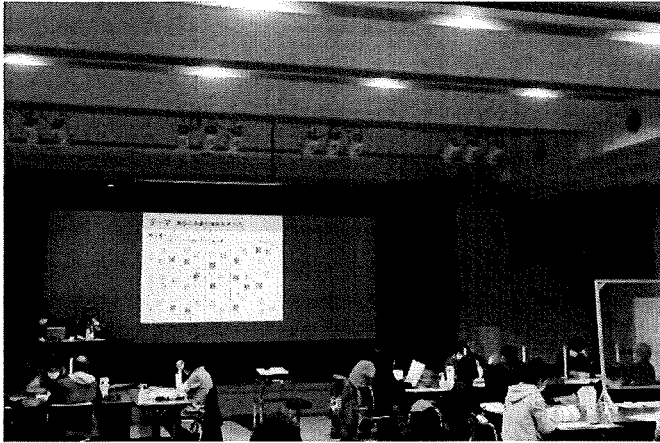
発行・作成者

発行:白井市教育委員会教育部文化センター(担当:管理班)
〒270-1422 千葉県白井市復1148-8
電話:047(401)5322 FAX:047(492)8030
作成・編集:(株)シアターワークショップ

おもしろいぞ白井!! Vol.03

2021.12

令和3年12月7日(火)、第3回白井市文化センターのあり方
検討ワークショップが開催されました!



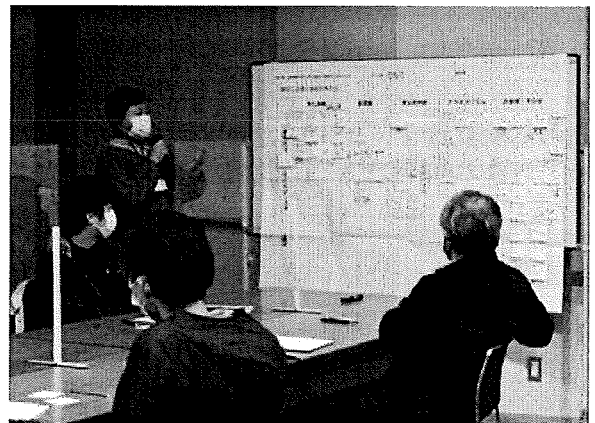
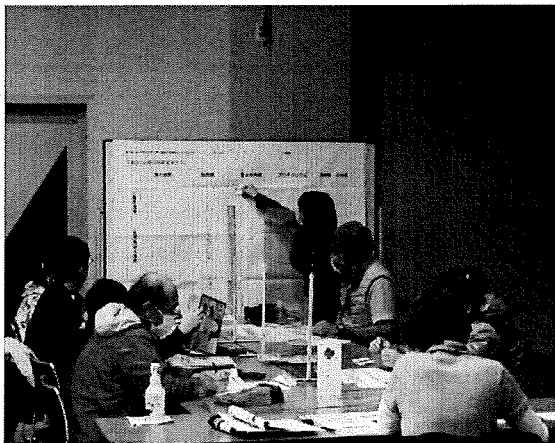
今回のテーマ「施設に必要な機能を考える」

今回のテーマは「施設に必要な機能を考える」ということで、3グループ18名の参加者の皆さんに意見交換していただきました。

必要な機能を考えるにあたり、まず第2回のワークショップで「意見いただいた「望ましい姿」や「コンセプト」を実現するために必要な取り組み（事業、活動など）を考えていただき、さらにその取り組みを実現するためにはどのような部屋・スペースが必要かについて話し合っていたきました。

必要な部屋・スペースについては、
「①既存施設で実施が可能」
「②既存施設を改善すれば実施可能」
「③新しいスペースが必要」という3つの視点で考えていただきました。

「①既存施設で実施が可能」な取り組みとしては、文化会館での公演の充実・白井市の特性を活かした展示、看板イベントの企画が挙げられました。



「②既存施設を改善すれば実施可能」な取り組みとしては、文化会館の諸室の防音性・遮音性の向上や、図書館の児童コーナーの改善、共用部にパーテーション・ミッド等を整備することで仕事ができるスペースにしたという意見がありました。

「③新しいスペースが必要」という意見は共用部に関するものが多く、中庭や総合公園にステージ・電源を新設することで野外コンサートを行いたい、気軽に集えるようなカフェスペースを新設してほしい、小学生でもアクセスしやすいようにイベントバスを開通してほしい、という声がありました。

また、ハード面だけでなく利用規則の工夫が必要な課題点・改善点も挙げられました。(詳しいご意見まめは裏面の表を参照ください。)
次回も沢山の意見お待ちしております！

ワークショップのご意見

※沢山のご意見をいただきましたので、一部表現を変更・修正して掲載しております

	①既存施設で 実施が可能	②既存施設を 改善すれば実施可能	③新しい スペース/設備が必要	④ソフト面の 変更・工夫が必要
文化会館	プロの公演を定期的に企画 (音楽/演劇/伝統芸能/講演会など)	利用の幅を広げる →中ホール+防音/遮音性の向上+舞台袖を作る	文化交流/発信の拠点にする →練習室/研修室を増設	楽屋/リハーサル室の活用 (ホールが稼働しない日)
	子ども/若者向けの企画	子育て中でも文化芸術を楽しみたい	文化会館周辺をもっとにぎやかに	使用料を安くしてほしい
	文化サークルの育成講座	→両ホール+親子席/託児所		照明や舞台監督を自前で養成する
	映画上映会	音量の大きな楽器を演奏したい		ホールが稼働しない日、 市民は無料で使える
	学校行事/部活の発表等での利用	→諸室+防音・遮音性の向上 パブリックビューイングを行いたい →大ホール+スクリーン/ネット環境		
図書館	看板イベントの企画	森を見ながら読書できる閲覧室 →閲覧席+配置の変更	個室のゲーム設備 1階の図書館の外にもトイレがある と良い	カフェに館内の図書を持ち込みたい 子どもが騒いで良い日・時間を設けると良い
	図書館は無料が良い			
	布の絵本の導入	子どもが靴を脱いで本を見られる場 →児童コーナー/お話の部屋+改装		
	新刊の案内	子どもの声が響かない児童コーナー →児童コーナー/お話の部屋+防音/遮音性の向上		
	予約本の待ち時間が分かる案内	パソコン持ち込み可のスペース →閲覧席+ネット環境		
郷土資料館	看板イベントを企画	着物、農具の体験コーナー →資料館内+イベントスペースを作るレイアウト	郷土料理や地元の農作物の食体験 →資料館内に調理施設を新設	展示をロビー1階に置く 地元農業の後継者を探すマッチング機能
	白井に縁のある著名人についての常設展示			
	子ども楽しめる企画	収蔵庫容積を増やしたい		
	白井ならではのビジネスの情報を発信	→収蔵庫+更新		
	懸賞論文の募集(市のPR/情報発信)			
プラネタリウム	大人向けのコンサート	アロマ/音楽とともに星を見る →容席+香りを出す装置を追加	屋上に車椅子利用環境を整備 屋上に天体観測の設備を設置 屋上に天体観測機器の保管庫を設置 屋上に移動式ディスプレイを設置 人工衛星ロックオンシステムを設置	催事を定期的に駅でPR
	プラネタリウムは近隣にないので貴重			
	星の見える白井市の特性をアピールしたい	展示のスペースを拡大		
	投影機を継続して使いたい	屋上の床を補修		
共用部・その他	カフェスペースの開放	リモートワークができるスペースの設置 →共有部+小部屋・電源/Wi-Fi/プリンター	野外コンサートを行いたい →庭・総合公園+ステージ・電源を新設	駅からのアクセスを良くする 文化会館に特化した情報発信・広報
	マルシェ・朝市の実施			興味ある文化活動を探せる機能を作る
	全般的にPRが足りない(SNSでの発信など)	憩いの場・談話スペース	小学生でもアクセスしやすい移動手段 →イベントバスの開通	各コーナーなどに市民の作品展示
	白井市在住/出身の文化人の情報発信	→ロビー+防音性/パーテーション/机イスの設置	気軽に集えるようにしたい →オープンカフェ・交流スペースを新設	中庭への出入りを自由にしてほしい
	ストリートピアノの設置	ロビーコンサート →ロビー/図書館+防音性/遮音性の向上 防災設備の増強	施設に来るきっかけづくり →インスタ映えスポットを新設 アトリエ・工作室・キッチンを新設 食文化を発信する施設を新設 コワーキングスペースの新設 自然エネルギーによるエコなシステム	
	カフェで給食を食べ、感想をフィードバック			

なんでもアンケートのご意見

各グループでのコンセンサスが取れて来たような気がしました。
次回具体化されることを願っています。

だんだん形が見えてきたと思います。

今の施設を利用して改善していこうという意見が
全チームだったのはうれしかった。

施設のハード面への要望だけでなく、
文化センターに集う人たちの交流の場を
皆さん求めているんだな~と思いました。

具体的なアイデアがたくさん聞けて、
とても勉強になりました。

皆さんの白井市に対する熱い思いを感じることができました。
市民が集える文化センターを目指して活動できればと思います。

次回予告

「施設機能の規模、設備を考える」
2022年1月18日(火)18:30-20:30
@文化センター中ホール

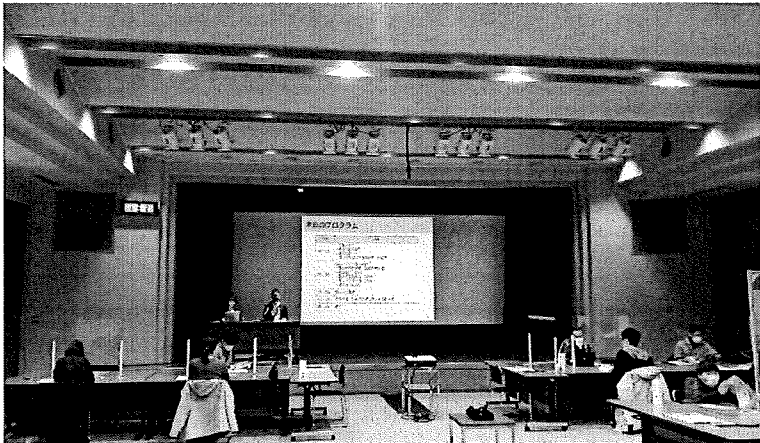
発行・作成者

発行:白井市教育委員会教育部文化センター(担当:管理班)
〒270-1422 千葉県白井市復1148-8
電話:047(401)5322 FAX:047(492)8030
作成・編集:(株)シアターワークショップ

おもしろいぞ白井!! Vol.04

2022.01

令和4年01月18日(火)、第4回白井市文化センターのあり方検討ワークショップが開催されました!

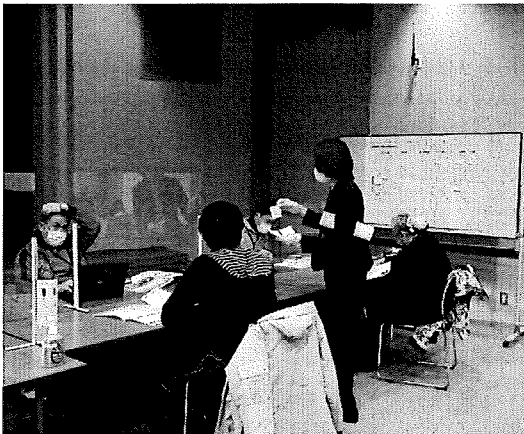


今回のテーマ「施設機能の規模、設備を考える」

今回のテーマは「施設機能の規模、設備を考える」ということで、4グループ14名の参加者の皆さんに意見交換していただきました。

第3回までのワークショップで挙げられた、文化センターで行いたいこと、「コンセプト」を実現するために必要な取り組み、その取り組みを実現するために必要な部屋・スペースをもとに、今後の文化センターに求められる施設機能・設備等について話し合っていました。また、施設間での連携や、1つの部屋の多用活用(重ね使い)の視点も併せて検討していただきました。

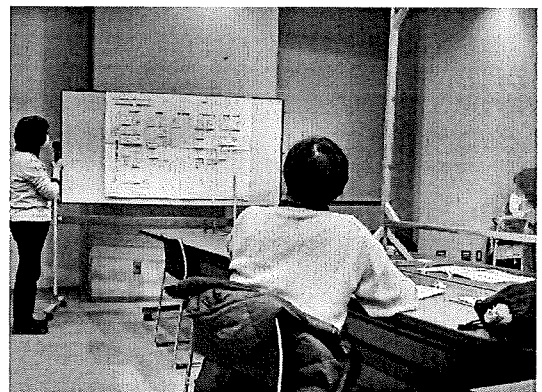
文化会館については、大ホールは機能・設備は現状のままでも実施が可能な利用内容が多く、中ホールについては防音舞台袖の拡充が必要であるというご意見が多数挙げられました。また、楽屋を練習室やワークキングスペースとして活用する案や、ネット環境を整備してパブリックビューイングを行いたいというアイデアもありました。



図書館については、パーテーションを設置し親子がリラックスして本を読めるスペースを作ってほしいというご意見や、ミニ・電源・モニター・プリンターを整備したワークキングスペースを設けてほしいというご意見がありました。郷土資料館については、現状の施設でも実施が可能な教室や講座の案が多く、展示を見るだけでなく実際に体験できる場を求めるアイデアもいただきました。

プラネタリウムについては、より幅広い催事を実施できるよう音響を整備したいというご意見や、また、文化会館のように施設を市民に貸出してほしいというご意見もありました。共用部については、エントランスでの催事を求める声があったとともに、現状の研修室・和室・庭園を有効活用したいというご意見が多く挙げられました。(詳しいご意見はとめは裏面の表を参照ください。)

このワークショップも次回で最終回です。最後まで沢山の「ご意見お待ちしております」。



ワークショップのご意見

※沢山のご意見をいただきましたので、一部表現を変更・修正して掲載しております

施設	ジャンル	催事・利用目的	規模・設備機能
文化会館	大ホール	・白井のプロ音楽家のコンサート、著名人の講演会 ・サークルの演劇、ダンスの発表会 ・子ども向けの音楽や人形劇 ・パブリックビューイングで観戦・応援 ・高校の吹奏楽の発表会 ・白井のアマ・プロ音楽家発掘（発表会）	・文化会館大ホール 楽屋・換気の設備の改善 ・800名規模でスクリーン・ネット環境 ・800席以上へ座席数の増加、防音性の向上、舞台袖 ・600名規模で母乳室・飽きた子の居場所・託児スペース（臨時でも可）
	中ホール	・子どもが遊べるイベント ・小規模人形劇 ・映画上映（大ホールでも可） ・デジタルコンテンツ ・演奏会・発表会・コンサート全般	・4つくらいのコーナーがある遊具 ・VR/ARの設備 ・防音、簡単な照明、舞台/舞台袖の拡充 ・100席程度の段式客席（収納可能） ・小さい子用の長椅子
	その他	・楽屋を練習室、リモートワークのために利用、サークルに開放 ・レッスン室は大ホールで催しのない平日、市民利用可にする ・ビデオカメラで撮影したデータをDVDに焼きたい	・楽屋の防音 ・パソコン、ネット環境、仕切り（1人でも使える） ・第1練習室より大きなスペースがあると良い ・レッスン室を防音、鏡
図書館	親子向け	・本を読んだりおしゃべりしたり寝転んだり ・布の絵本、子どもと一緒にのおはなし会	・20名で利用できる親子ルーム（飲食可）、マット（防水）、お話の部屋の囲いを可動式パーテーションに ・10名（子ども）くらいの規模
	リモートワーク	・リモートワーク・ビデオ視聴用個室（図書館設備）	・防音・Wi-Fi・電源・モニター・プリンター（図書館共用） ・1スポットで30名くらいのセキュアWi-Fi（登録者のみ使えるWi-Fi）
	その他	・庭に向けてのオープンスペース、森の読書学習室	・8~10名程度のカウンターとイス ・マンガ本、各国語学DVD・CD
資料館	WS・アトリエ	・体験・WS工作を増やす、見るから創るへ	・アトリエ併設、スキルを持った市民を講師に
	教室・展示	・考古学発掘教室、かんたんな古文書の読み方教室 ・白井の歴史をシリーズで展示 ・個人のコレクション展示	・教室ができる場所 ・展示ケース等
プラネタ	市民利用・貸出	・プラネタリウム空間の市民利用、貸出（朗読・演奏など）	・設備は現状維持で可 ・音響設備
	鑑賞・講演会	・お話し会（星座の話、民話、怪談） ・音楽鑑賞（薄暗くして） ・星見お茶飲むを同時にできる（プラネタリウム/カフェ）	・個別ソファ席、ディスタンスとれる数 ・360° 投映可能な映写機 ・AR機能付きプラネタリウム（床をスマホで見ると南の星が見えるなど）
	その他	・宇宙の体験（宇宙旅行の映像・音） ・アロマと星座	・ディフューザー（香りを出す装置） ・大型望遠鏡 ・望遠鏡ドーム
共用部	エントランス	・休憩コーナー（会議や打ち合わせも） ・展示・イベント ・YouTubeなどで有名な方が来るきっかけに	・テーブルとイスをいくつか ・ストリートピアノ ・パネル
	カフェ	・お茶を飲んだりおしゃべりをする ・庭園にオープンカフェ ・チャレンジカフェオーナーへ貸す ・レンタルキッチンで料理を作って売る	・20~30名が入れるテーブル・椅子・売店
	屋外	・移動式テイクアウトカー、ランチに弁当買って公園で食べる ・梨管理を体験、後継者を育てる ・マルシェ、ファーマーズマーケット	・1日5台入れ替わり ・文化センターの庭に梨畑 ・文化センターの庭に梨園 ・飲食スペース ・電源
	諸室	・リモートワーク用個室・会議室（楽器を練習する場としても可） ・アトリエ展示室・スタジオ（卓球・ヨガ） ・教室（料理・陶芸・彫刻・パソコン） ・地元産品を使った創作料理の調理・販売 ・2階研修室を市民文化団体の活動・文化交流の場として活用 ・1人で落ち着いて本を読みたい	・防音、Wi-Fi、電源、モニター、プリンター（共用）、オンライン予約 ・バドミントンコート2面分中ホールくらいの広さ ・全用途に共通する床素材・照明（明⇄暗） ・調理設備、換気 ・可動式机、展示パネル ・閲覧席の仕切り
	その他	・文化会館の交通アクセスを改善する ・エレベーターに行事予定を貼る・飾る	・バス、最寄り駅のレンタサイクル ・太陽光発電、地熱利用の冷暖房など環境にやさしい設備改善

なんでもアンケートのご意見

今日のテーマは今ある既存のものをイメージしながら考えていくのが難しかった。

既存の使い方にとらわれない施設の活用法、アイデアが生まれて楽しかったです。企画のあり方で、よりにぎわいが生まれそうですね。

文化会館は今ある設備がかなり良い物だと、改めて感じました。

第2回に参加した時のコンセプトを考える時より、より具体的な話になっていったため、新しい文化センターを頭の中に描けるようになりました。

次回予告

「市民参加を考える」
2022年3月01日（火）18:15-20:30
@文化センター中ホール

発行・作成者

発行：白井市教育委員会教育部文化センター（担当：管理班）
〒270-1422 千葉県白井市復1148-8
電話：047(401)5322 FAX：047(492)8030
作成・編集：(株)シアターワークショップ